東京歯科大学同窓会会報

2003年12月　337

東京歯科大学同窓会会報　第337号

目　　次

巻 頭 言……………………………………………………1
今 は 昔……………………………………………… 2 ～ 3
お知らせ……………………………………………………4
ＶＯＩＣＥ…………………………………………………5
会　　務……………………………………………… 6 ～ 7
保　　険……………………………………………… 8 ～ 9
学　　術………………………………………………10～11
理事会のうごき………………………………………12～13
母校だより……………………………………………14～15
支部のうごき…………………………………………16～20
クラス会だより………………………………………21～27
すいどうばし……………………………………………28
広報委員会アンケート結果報告……………………29～31
逝去会員・追悼………………………………………32～33
庶務日誌…………………………………………………33
へんしゅうこうき………………………………………34
平成15年度評議員会・第109回定時総会報告 …35～62

(表紙　野村　淳)

巻　頭　言

互酬から
安心で安全な
くらし保障へ

厚生担当常任理事
梅　村　長　生

同窓会の会則改正により，共済部は厚生部と名称が変更となり，共済＝「共同してたすけ合うことつまり互酬」から，厚生＝「人々の暮らしをゆたかにし健康を増進すること」へと役割が拡がりました。

さて，日本経済の10年余にわたる停滞は，小さな所得格差が特徴とされてきた日本社会を大きく変えようとしています。つまり，総中流時代から，中流層が下方へ地滑りを起こしてきている実態が鮮明になってきています。売上げが減少し，収益が悪化する「デフレ経済」の下で，益々歯科医業環境が厳しくなることが予測されます。さらには，近い将来，東南海地震等の自然災害が想定されている現在，災害時の保障サービスの充実が求められています。

また，最近の報道にみられるごとく医療ミス・医療事故に対して患者の権利尊重の上からの厳しい処分は，歯科医師免許取消につながるケースが増えています。

さらに，平成18年度からは歯科医師臨床研修が必修化されるに伴い，診療と感染対策上の医療事故に対する徹底した安全管理が診療所にも必要とされます。

こういったケースに対応するため，従来の共済制度の見直しを行い総合的保障制度の整備が急務となります。

同窓会では共済制度検討委員会において検討を重ね，新入会員と東京歯科大学で臨床研修を受ける全ての新卒歯科医師を対象とした医賠責保険を含めた共済制度の改正に着手しました。

同窓会員が安心して安全な歯科医療に専念するためには，生命保険や損害保険を１つのパッケージとして捉え，個人個人が加入している様々な保険の金額を合計し，取引き量に応じた保険料や配当の優遇などのサービスの提供を行う総合保険が必要と考えます。

これには，大学，父兄会，同窓会が三位一体となって運用するシステムと東京歯科大学に対する会員のアイデンティティの確立が大切です。

三位一体により，保険会社等を通じての各種施設利用サービスも受けられ，大学と一体となった人材派遣サービスや同窓会員相互の患者紹介システムの運用が可能となります。

'04年より国立大学が独立行政法人化され，研究・教育分野で特色を競う大学間の競争原理が働き，私学の存在をも脅かしかねません。こういった事態に対応するためにも新しい厚生共済制度を確立することが求められる時代です。

同窓会各位のご支援とご協力をいただいて，安心と安全を保障する厚生共済事業の充実に努めてまいりたいと思っております。

今は昔　卒業アルバム・私のアルバムから

水公会　(昭和56年卒)

東京歯科大学の自慢をするとき，よくこんなことを言う。

「ねぇ，大学生のときね，英語の時間に窓の外を見たら，ウサギがいたんだよぉ」

当時，二棟に分かれた木造の進学課程の中庭には，ウサギの好きそうな草がいっぱい生えていた。ゴルフの練習にも最適なその草は，窓から授業を脱出しても，ふんわり着地を支える草だった，と思う。ま，私はそのころとてもまじめで(笑)，実際着地の感触を味わったことはないですが。

木造平屋建の大学，考えてみればリッチな空間。同級生は窓枠を飛び越え，教室から直接，外の世界へ脱出し，笑顔の脱兎となっていった。

こんな自慢もする。「あのさー，学生のときねー，みんなで飲みに行って騒いだら，お出入り禁止になっちゃった居酒屋があるの」

私自身は前にも書いたとおり，当時は案外まじめで，いまいちノリが悪かったように思う。それが，なぜこれを自慢にするかというと，お出入り禁止になるほど騒げるみんなの存在が，なにより頼もしかったからである。この流れはのちに一六会という集団に発展し，在学中から現在まで別途宴会継続中である。

さて，最近ではこういうのが多い。「大学のときの同級生さあ。ウン，東京歯科大の。今，○○やってんの」と，同級生の業績や活躍ぶりを自分のことのように自慢している。同級生たちは現在，臨床でとても誠実な仕事をされていたり，専門分野を追究されていたり，保険関連分野のエキスパートであったりする。大学にずっと残って，臨床・研究・教育を続けている方たちは，各方面の中心的存在として活躍され，最近お祝いも多い。

ちょっと前，海外で活躍している同級生を囲んでセミナーがあった。その二次会で他の学年の方が，「先生たちの学年はいろんな方面で活躍されてる方，多いですよねえ」と言われたので，軽く聞き流したふりをしながら，心の中で「ふっふっふ」とほくそ笑んだ。

ウサギのいる市川の進学課程はもうないし，水道橋校舎は写真集『水道橋』1冊を残してなくなってしまった。水道橋の「水」と「八六(ハム)」を組み合わせた水公会は水道橋中央ホール最後の卒業生である。ラジオでFENを流しながら，石膏棒に上顎右側第一大臼歯の舌面溝を刻んだクリスマス。荒井から松任谷になったユーミンが『あの日に帰りたい』を歌う。あのころの私に戻ったら，行きたい。東京歯科大学に行きたい。もう一度，あの進学課程から，あのときとまったく同じメンバーと一緒に，東京歯科大学に通いたい。卒業前，あと少しというところで体調を崩した人も，若くして他界した人もみんな一緒。もちろん，アニメージュ大賞の作家も，有名なハブラシコレクターも一緒に。で，私はまた試験前にまとめノートを貸し出して，あとでアンナミラーズのパイをおごってもらう。あー，今度は窓から脱出するのもいいかもしれないな。

写真提供：156番 森　泰彦
文　　章：155番 萩(旧姓 森)名子

平成３年３月23日　熱海岡本ホテル

平成14年７月14日　銀座キハチチャイナ

お　知　ら　せ

理事会より

●同窓会本部年末年始のお休みは，平成15年12月28日（日）～平成16年1月4日（日）までです。

同窓会事業・行事

●ＴＤＣ卒後研修セミナー2004プログラム

臨床実技セミナー

№1「MTM の実際」	平成16年4月10日(土)
	4月11日(日)
№2「インプラントに必要な解剖と臨床 FAQ」	6月19日(土)
	20日(日)
№3「フラップ・オペレーションの実技」	7月10日(土)
	11日(日)
№4「旧義歯から学ぶ」	9月12日(日)

卒研フォーラム

№5「かかりつけ歯科医として患者との繋がりを考える」	9月26日(日)

ベーシックセミナー

「生涯を見据えた診断と治療計画の立案」

№6「歯の喪失リスクを読む」	10月17日(日)
№7「歯はどこまで救えるか！」	11月7日(日)

問い合わせ先：東京歯科大学同窓会学術部　Tel. 03－5275－1761

開催予告

第33回全国ゴルフ大会

平成16年8月26日（木）

神奈川県相模原ゴルフクラブ
西コース

開催日が9月から8月に変更になります。奮ってご参加ください。クラス会コンペ・支部コンペとしての予約も受付けます。

母校関係行事・案内

●平成16年度東京歯科大学入学試験

一般入試（Ⅰ期）	平成16年2月1日(日)
一般入試（Ⅱ期）	平成16年3月7日(日)

ホームページ　http://www.tdc.ac.jp/admission/

詳細は334号（6月号）13～14頁に掲載

●平成16年東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学試験

一般入学試験	平成16年2月3日(火)

ホームページ　http://www.tdc.ac.jp/tdhs/index.html

●平成16年度東京歯科大学学会

第277回　例 会	平成16年6月5日(土)
	演題締切　4月20日(火)正午
第278回　総 会	平成16年10月16・17日（土，日）
	演題締切　8月31日(火)正午

日本歯科医師連盟 役員

副理事長　大曽根正史（35卒）
常任理事　金子　雅英（29卒）
理　　事　佐藤　英俊（49卒）
理　　事　津島　邦彦（40卒）
理　　事　奥　　欽也（32卒）

日本歯科医師連盟 広報委員会

担当常任理事　金子　雅英（29卒）
委　　員　遠井　政宏（45卒）

日本歯科医師連盟 評議員会

議　　長　清藤　勇也（34卒）

「世界のブランド」球磨焼酎

九州地区理事　澤　田　　稔

1年位前に同窓会の某理事さんから九州の球磨焼酎について VOICE 欄に書いたらとの要望があったので，今回醸造元を訪ね，球磨焼酎に関する話を聞いたので書くことにした。

「産地指定」

球磨焼酎は日本でもっとも古いといわれる熊本県人吉球磨地方に伝わる独特の米焼酎である。

球磨焼酎は平成7年に，国際的に通用する酒類の「地理的表示を保護する法律」により特許庁から産地指定を受けた。ウィスキーのスコッチ，ブランデーのコニャック，ワインのボルドーと同じ適用で，その品質，社会的信用が評価され世界の銘酒の仲間入りをした。すなわち産地指定の球磨焼酎は熊本県の人吉球磨地方の美しい水と良質の米を原料として造られた焼酎で「球磨」と言う原産地を特定して保護する法律が適用されている。

単に米焼酎と言えば日本各地で造られているが，球磨焼酎は他地区の焼酎とは一線を画している。他に産地指定の焼酎は長崎県の壱岐焼酎，沖縄県の琉球泡盛が認定されている。明治時代の人吉球磨地方には約200軒もの焼酎蔵があったといわれているが，現在は28軒の蔵で造られている。その銘柄は100種以上で，その年間販売数量は約2.1万kℓ。石高にすると11.6万石，一升ビンで1,164万本になる(平成10年度)。

「球磨焼酎の特徴」

28の蔵が造る球磨焼酎は味も香りも多種多様。数多くの銘柄がそれぞれの個性を競い十人十色の嗜好に応えている。代表的なタイプを紹介すると，次の4タイプがある。

1．淡白な魚介類の刺身やチーズに合うタイプ（食前～食事の前半に向く）
2．脂身のある濃いめの味付け料理に合うタイプ(食中，食後に向く)
3．ナッツ類やチョコレートに合うタイプ(食事の後半～食後に向く)
4．キムチ鍋など甘辛い料理や辛みのある料理に合うタイプ（食後に向く）

焼酎は酔い覚めが良いとは，よく耳にすることだが，近年の研究で，本格焼酎には色々なヘルシー効果があることが判ってきた。適量を継続的に飲酒すると，まず血管細胞が健康になり，血栓性の病気，具体的には脳血栓や心筋梗塞。虚血性心疾患，脳梗塞，狭心症などの予防対策になるであろうと言われる。

(参考文献)　日本酒造組合中央会刊「本格焼酎と泡盛ヘルシーサイエンス」

「球磨焼酎の製法」

1．麹米の処置

球磨地方産の純良米をよく洗い，水に浸漬したあと水切りをして甑に入れて蒸す。

2．製麹

蒸米は冷やして麹室に引き込み麹床で種麹を加え，床盛して保温。温度管理をしながら数回切り返しを行い出麹する。引き込みから出麹まで約40時間を要する。

3．一次仕込み

出来上がった麹に良質の水と酵母を加えてカメに仕込む。この一次もろみは酒母とも呼ばれ，良い酵母を多量に育成することを目的とする。

4．二次仕込み

熟成した一次もろみに一定の汲み水と良質の蒸米を加える。この二次もろみでは米の澱粉をアミラーゼが糖に変える糖化作用が行われ，さらにその糖を酵母がエチルアルコールに変える発酵作用が平行して進む。15日間で発酵が終わる。

5．蒸留

発酵を終えた二次もろみは蒸留釜で加熱され，アルコール蒸気となり，これが冷やされ液化し焼酎として取り出される。

「マイ焼酎造り」

某酒造場ではオリジナル焼酎造りをサポートしてくれる。まず原料のお米を300kg を持ち込む。焼酎造りのプロの手ほどきを受け，仕込み，蒸留，仕上げまでの行程を共に楽しみながら……と言う貴重な体験が出来る「マイ焼酎造り」で，仕込みから出来上がりまで約22日，それから約3ヵ月の貯蔵期間を経て完成に至る。お米300kg で25度の焼酎を一升ビン約300本。原酒の状態ならば4合ビン（720ml）で約400本だそう。なお，このオリジナルマイ焼酎はラベルまでも自由にデザイン OK とのこと。

平成15年度評議員会　第109回定時総会報告
―天野　恵会長5選される―

平成15年度評議員会は，平成15年11月15日（土）午前10時00分から，如水会館スターホールにおいて開催された。

池田　漠専務理事の司会のもと，配布資料の確認が行われた後，梅田昭夫副会長の開会の辞で評議員会は始まり，点呼は受付の署名をもって替え，評議員総数153名中，出席115名（10時現在）で会議は成立した。

冒頭，日本歯科医師会会長臼田貞夫氏が挨拶に訪れ，日頃東歯の先生方に大変お世話になっており，大変感謝を申し上げるとともに，次期参議院選挙に笹井ひろふみ氏の推挙をお願いしたい。そして，1人10票，50万票を目標に頑張りたいと述べられた。

次いで天野　恵会長の挨拶があり，井上　裕理事長，石川達也学長を始めとする大学幹部および，全国評議員の先生方の出席を心から感謝し，また平成7年度評議員会で指名されてより4期が終わろうとしており，皆様方のご協力，ご支援を感謝する旨，発言があった。今年は3つのことを柱としてやってきた。その第1は会費の減額による財政の確立，第2は医政の充実である。昨年，総合政策積立金が設立されたが，本年度日歯代議員数が22名から16名に減少したことが残念でたまらない，今後は本部が重大な関心をもってこれにあたり，協力する所存である。そして第3は会則の改正である。評議員の数について4次にわたり検討されてきましたが，さらなるご審議を賜るようお願いしたいと挨拶された。

次いで，来賓の紹介が，渡辺公武総務担当理事より紹介があり，来賓を代表して井上理事長より，大学の人事は石川学長にまかせているが，経営は私の責任であるのでその説明をと，大学運営は現在，年間10億円位の黒字で正常な状態で運営されており，その中，市川病院の収入がかなりあり，さらに充実させたい，また健全な大学運営として財務委員会で，石川学長が中心となってやっているので安心してもらいたいと挨拶された。

続いて，石川学長より，臨床・教育・研究の三位一体の成果をあげることを目標としてきた，その成果の一部として，今年度国家試験に新卒者全員合格をとげた。本学は他大学に比べて，教職員が少ない中で全員で努力して頑張っている。また，卒業生の就職先を確保するように大学も努力するが，卒業生が路頭に迷わないように，後輩のためにもよい道を作っていただきたいと挨拶された。

議長・副議長の選出

司会者一任となり，議長に126番中根俊吾評議員，副議長に61番亀谷博昭評議員を選出した。議事録署名人は議長の指名によって48番近藤　功評議員，82番甲田保彦評議員が選出された。

報　告

報告に先立ち，9名の代理出席者の承認が諮られ承認された。次いで106名の物故会員に対して全員黙祷

を捧げた。池田専務より平成15年度会務全般の報告があり，さらに各部担当理事より詳しく報告があった。次いで矢崎秀昭会計担当常任理事から平成15年度会計現況報告がなされ，審議の結果承認された。

議　事

第1号から第5号議案までの平成14年度の決算関係の議案が一括上程され，矢崎理事ならびに渡辺理事より議案の説明があり，高原映忠常任監事が監査の結果を報告した。質疑の後，第1号より第5号までの議案が原案通り可決承認された。11時40分より12時40分まで昼食のため休憩となった。

12時40分再開後，第6号議案として東京歯科大学同窓会会則一部改正案が提案され，池田専務より，評議員数は現行のままで会務処理機構を現行6部より8部にする案（保険部，情報部の新設）の説明があり原案通り可決承認された。

次いで第7号から第10号議案まで一括上程され，池田専務，矢崎理事より議案の説明があり，事業計画について活発な質疑がなされ第7号より第10号まで原案通り可決承認された。この中で特に10号議案の収入の減少に伴い支出の部の事業費の10%カットが示された。また理事会，委員会の食事代がなくなることとなった。また平成16年度に名簿の発行が決まった。続いて11号より15号議案まで一括上程され，質疑の上，第11号より第15号議案まで原案通り可決承認された。引き続き16号議案の役員改選が上程され，3名の評議員より天野会長の続投の推薦があり，満場一致で天野会長の再任が決定した。ここで天野会長は，もう1期やれということは，次年度10%カットした予算で，前年と同じかそれ以上の事業をすることで，責任をとれということと思い，一生懸命やりますのでご声援よろしくと挨拶があった。

協　議

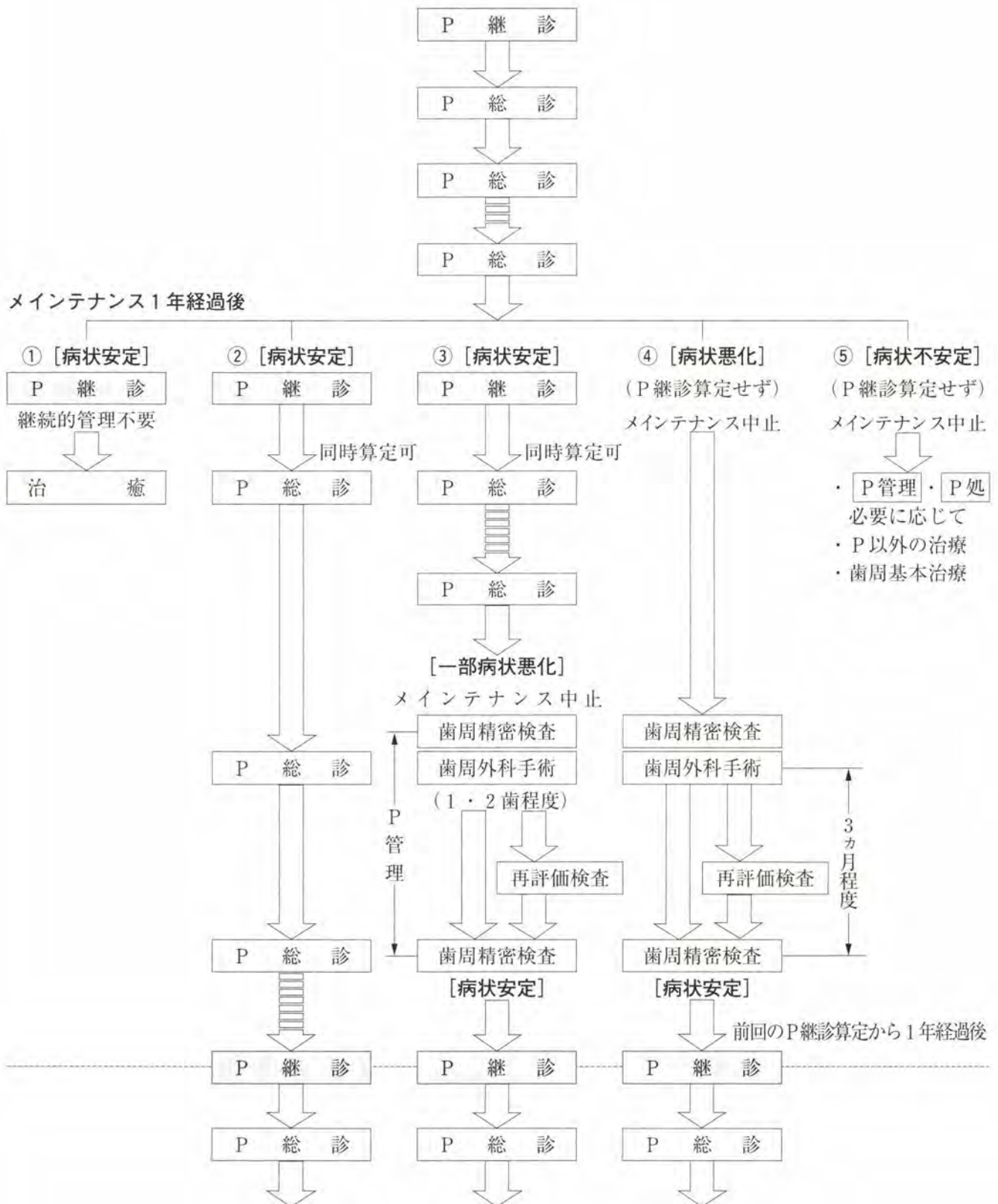
理事会側からも評議員側からもなしということでした。

14時05分にすべての議事が終了し，議長・副議長は降壇，10分間の休憩となった。

14時15分に再会し，平成15年度の叙勲，褒章受章者の顕彰式に移った。渡辺理事より13名の受章者の紹介があり，本日出席者は荒井　茂氏，堺みち氏（代理），清藤勇也氏，岡本日出夫氏，梅田昭夫氏，鈴木和男氏（代理），嶋中豊彦氏，江島俊昭氏，齋藤　昇氏で天野会長から記念品が伝達された。代表して嶋中豊彦氏より謝辞が述べられた。14時32分，金子雅英副会長の閉会の辞で本年度の評議員会は終了した。

第109回同窓会定時総会

評議員会に続き，15時10分より定時総会が池田専務の司会，鈴木裕副会長の開会の辞で始まり，会長挨拶の後，議長に亀谷博昭会員，副議長に中根俊吾会員を選出，また議事録署名人に近藤　功，甲田保彦会員が指名され総会が進められた。まず池田専務より会務報告，渡辺理事より評議員会報告，矢崎理事より経常部予算等の報告があり承認された。議事に入り，平成14年度決算関係並びに財産目録の4議案提案の後，大橋和夫監事の監査報告があり，審議の結果可決承認された。さらに第5号議案財産廃棄処分，第6号議案会則一部改正がそれぞれ審議され承認可決した。大友　好副会長の閉会の辞で15時30分総会を終了した。

歯周治療のメインテナンス～1年経過後の取り扱い（流れ図）

解　説

平成15年4月号に既報の「歯周治療のメインテナンスの流れ」は，「疑義解釈」の出される前に当対策委員会独自の解釈で掲載させていただきました。その後「疑義解釈」を検討した結果を改めて「1年経過後の取り扱い（流れ図）」とさせていただきます。

疑義解釈　平成15年5月19日

問　**歯周疾患継続総合診療料の算定開始から1年経過後に，ごくまれな場合として歯周基本治療により症状の改善が見込めない部位が生じ，たとえば1，2歯程度の歯周外科手術を実施した場合には，歯周外科手術を算定することができるか。**

回答　**歯周疾患継続総合診療料の算定に係る治療を中止した場合に限り，算定することができる。**

歯周疾患のメインテナンス～1年経過後の取り扱いは，基本的に（流れ図）に示した**5通り**に分けられると考えます。

メインテナンス1年経過後時点で

［病状安定］のケース

① 1年経過後の歯周疾患継続治療診断料（**P継診**）を算定した結果，**継続的管理不要**となった場合は**治癒**となります。

② **継続的管理が必要**と判断した場合は，今まで通り歯周疾患継続総合診療料（**P総診**）を続けます。この場合（**P継診**）と（**P総診**）は**同日算定可**です。

③ 最初（メインテナンス1年経過時点）は［病状が安定］していたが，（**P総診**）を算定している途中で［**一部病状悪化**］した場合は，**メインテナンスを中止**し必要があれば歯周精密検査後歯周外科手術を行ってください。その後［病状安定］が確認できたら，前回の（P継診）算定から1年経過後に（P継診）を算定し（P総診）に移行します。

［病状悪化］のケース

④ 1年経過後に［**病状が悪化**］した場合は，（**P継診**）**は算定せずメインテナンスを中止**して歯周精密検査の結果必要があれば，**歯周外科手術**を行い算定できます。この際，か再診（再診）・P管理・P処を算定します。3ヵ月程度経過後［病状安定］が確認できたら，（P継診）算定後（P総診）に移行します。

［病状不安定］のケース

⑤ 歯周病を含め［**病状が不安定**］な場合は，（**P継診**）**は算定せずメインテナンスを中止**し，か再診（再診）・P管理・P処を算定します。この際必要に応じて行った場合は，歯周基本治療（再SRP等）やP以外の治療も算定できると考えます。

学術部委員会活動の現状とこれからの方向性について

学術部委員会では今期，主に以下のような事業に取り組んできました。

1．セミナーを開催する
2．生涯研修を考える
3．母校臨床研修に協力する
4．学術情報の収集・分析・発信
5．学術連絡会への参加

現在，卒研セミナーは，実技研修の「技術セミナー」，チュートリアル形式による「ベーシックセミナー」，ディスカッション主体の「卒研セミナー」の3つの形態で企画され，多数の受講生を迎え，大変高い評価をいただいております。セミナーの形は，旧来講演主体の「話を聞く」セミナーから，「考えて答えを出す」参加・発表型セミナーへと変わりつつあります。すなわち，2000年までは受講型セミナーが中心でしたが，2001年のセミナーより「技術の習得」に重きをおいた技術セミナーが登場しました。

その後，昨年から今年にかけて，今までのベーシックセミナーをディスカッション形式に変えて，小グループで「考えて答えを出す」新しい形の参加型セミナーとして企画するようになりました。前号の同窓会報で既報のとおり9月に行われた大学・父兄会・同窓会3者合同で開催された臨床研修医のセミナーにおけるグループディスカッションや，今年度セミナーで11月に実施されたベーシックおよび卒研セミナーは参加・発表型セミナーとして登場しました。受講した人たちからは予想以上の好評を得ることができました。

技術セミナーは大学の臨床講座の協力を得て開催されており，キャンセル待ちが出るほど人気の高いセミナーとなっています。

学術情報の収集・分析・発信は，委員会内部での研究会や研究班で集められた学術情報を広く全国同窓に提供し，セミナーに反映することを目的としております。現在,「喪失リスクの評価」「学術用語集」等の検討を行っており,その成果を情報として活用できる日も近いと思われます。

各支部・地域支部との連携については，他大学同窓会からの無料招待の案内を地域協力委員に送る仕組みを徐々に作り上げていること，地域支部連合や支部との連携が図れるための学術活動のアンケート調査などを行っています。また，本年9月には東京地域支部連合会との連絡会が開催され，本部学術と支部連合学術との連携などが話し合われ，徐々にその輪がひろげられ学術のネットワークが全国の支部や地域支部連合と作られることが望まれています。

全国歯科大学同窓会学術連絡会は，全国歯科大学の同窓会・校友会の学術関係者との情報交換を行うため年2回開催されています。本年2月奥羽大学同窓会が主管で行われた学術連絡会では，初の試みとして，「学術の在り方」をメインテーマに4つのサブテーマを作り，6～7名の少人数による8グループでのディスカッションを行い，同窓会としての学術活動に対する共通認識がもてるよう，本同窓会学術部委員会のリーダーシップにより行うことができました。

これからの動向

学術部では，全体委員会，将来検討委員会にて，今後の方向性について様々な観点から論議しています。以下，その結果を列挙します。

① 受講者は概ね卒直後から10年程度までであり，それ以上の年齢層を対象としたセミナーを検討する必要がある。生涯研修の観点から，症例発表などの手法を用いた小規模の参加型セミナーや，大型のフォーラムなどを計画してはどうか。

② 技術セミナーは，人気の高さや大学との良好な協力体制からみて，継続していくべきである。多くの受講者経験者が要望するアドバンス的内容，単独受講で終了してしまうものより，受講者が継続して参加できるような内容，体制を検討する必要がある。

③ 臨床研修医に対しては，今年行われた大学・父兄会・同窓会主催のセミナーをスタートとし，内容を検討しながら継続すべく努力する。臨床実地見学リストを臨床研修医にとって有効なシステムとなるように進めていきたい。

④ 学術情報に関しては，現在の研究部の成果を情報誌・HP 等を利用し情報発信する。

⑤ 全国同窓の学術ネットワークに関しては，全国の支部・地域支部との連携がとれるように基盤整備を行う。さらには，セミナープログラムや学術事業への積極的な参画等，新たな展開を期待する。

⑥ 28校学術連絡会ではネットワーク強化を推進して，他大学同窓会と連携した共催学術事業も期待する。

2004年 TDC 卒後研修セミナー企画にあたり

ただいまお読みの同窓会報12月号に，学術部委員会より2004年プログラムを同封させていただきました。もうすでにご覧になった方も，いらっしゃることと思います。そこで，来年度の TDC 卒後研修セミナーの企画要旨について述べさせていただきます。

2004年 TDC 卒後研修セミナーは，年間タイトルを「歯と人の生涯図」として，「卒研フォーラム」「ベーシックセミナー」「臨床実技セミナー」の三つの柱で構成されています。

ご存知のように“健康日本21”において，口腔の機能として「歯」が大きく取り上げられています。人がいつまでも健康に生活をしていくためには，口腔機能の維持安定が重要であるとともに，より良い QOL を求めるための最終目標として，８０２０達成が掲げられている所以でもあります。

口腔の健康は単に口腔内の問題にとどまらず，体の様々な変化と切り離して考えることができません。すなわち，口腔内の管理を「かかりつけ歯科医」が総合的な視点からみていくことが必要になってきました。

しかし，日常臨床では小児期や青年期のカリエス，さらに中高年期の歯周病や歯牙喪失による咬合崩壊など様々な現症と遭遇し，症状の対応に追われているのが実状です。

そこで，総合的な視点を養うために「卒研フォーラム」では「かかりつけ歯科医として患者との繋がりを考える」と題し，講師に黒田昌彦先生（東京都・開業），三上直一郎先生（東京都・開業）をお招きし，スタッフとともにチームアプローチとしてこれまで取り組んでこれらた，「かかりつけ歯科医」としての患者さんとの繋がりをお話していただきます。

また，坂井　剛先生（愛知県・開業）には日本歯科医師会としての，かかりつけ歯科医制度とこれからの展望について，ご講演いただく予定です。

今回の卒研フォーラムは経団連ホール以来，久々の大型セミナーとして文京区シビックセンター小ホールでの開催となります。明日からの臨床に，きっと役立つセミナーになるように企画いたしました。歯科医師のみならずコ・デンタルスタッフの方々にもぜひご参加していただきたいと思っております。

「ベーシックセミナー」は現在，比較的若い先生方にご好評をいただいている受講者参加型セミナーです。「ベーシックセミナーⅠ」では60歳代以降における急激な歯牙喪失を最小限にするために，40歳代から必要な医療介入とメインテナンスのありかたについて，10年後の歯牙喪失リスクの評価法などを主な内容とする予定です。

学術部委員会の研究班では，口腔全体を診て問題点を抽出し，歯牙の喪失傾向が読めないものか，どんなところに視点をおけばリスクがみえてくるのか，口腔内写真，パノラマレントゲン等の資料をもとに実験的討論が行われています。この機会に受講者の方々にも参加していただき，いろいろな考え方，他の人から意見を聞き発言することで生まれる「新たな気づき」を目標としたセミナーです。

「ベーシックセミナーⅡ」では，一本の歯を救うことに主題をおきます。すなわち一本一本の歯を守ることが歯列を守ることであり，結果的に口腔機能の維持安定を可能にします。①エクストルージョン　②クラウンレンクスニング　③エンド・ペリオ　④根分岐部病変　⑤智歯の活用（移植）等の症例報告と，受講者参加の小グループディスカッションから問題発見を行っていきます。

一人でも多くの患者さんが８０２０を達成することを，「かかりつけ歯科医」として手助けするために必要不可欠な視点が含まれていると考えております。今回は，ベテランから新人の方々まで，幅広い年齢層の先生に参加していただければ，より実り多いセミナーになると確信しております。

「臨床実技セミナー」は大学の各関連講座のご協力を得て，実習を行い，実際に手を動かしながら理論と基本手技を会得するセミナーです。

これまで好評の「MTM の実際」「フラップオペレーションの実技」，昨年より始まった「旧義歯から学ぶ」，そして2004年で新たに開設された「インプラントに必要な解剖と臨床 FAQ」以上４つの実技セミナーを企画しました。

必ずお役に立つセミナーですので，同封のプログラムをご覧のうえ同窓各位のお申し込みを心よりお待ちしております。

なお，受付開始は2003年12月中旬からとなります。

（2004年プログラム委員長
藤関雅嗣）

理事会のうごき

保険部，情報部新設へ

天野　恵会長は第3回理事会で本年度評議員会に上程する平成16年度事業計画収支予算書，会則の一部改正など全議案の内容を検討して承認を求め，了承された。評議員会で可決されれば会務処理機構に保険部と情報部が新設される。

第3回理事会

平成15年9月20日（土）午後2時30分
於　特別会議室
出席　28名
議長　大友副会長

会長挨拶

各部担当理事の努力により編成された「平成16年度東京歯科大学同窓会収支予算書（案）」ができあがり，本日の会議に議案として提出されているので充分に審議のうえ承認されたいと述べた。

黙　禱

丸の内支部・渡辺皓司氏他14名のご逝去を悼み，謹んで哀悼の意を表した。「起立黙祷」

会務報告

(1) 平成15年7月17日から12月22日までの日程について報告。
(2) 支部長が1名交替，就任したことを報告。
(3) 旧支部長あて感謝状ならびに記念品を贈呈したことを報告。
(4) コンピューターによる各地域支部連合の掲示板開設に伴い，掲示板管理者を決めてほしいとの要望があるので，各支部連合会会長あてに依頼することを報告。
(5) 会費徴収の効率化や合理化を図るため，コンピューター化に向けて情報委員会の協力を得て検討していることを報告。
(6) 9月10日に東歯関係日歯役員・代議員，都道府県歯会長と同窓会役員との懇談会を開催したことを報告。
(7) 9月3日に社会保険指導者研修会終了後，出席者との情報交換会を開催したことを報告。
(8) 学術講演会助成金支出について2件報告。
(9) 学術講演会講師派遣交通費の支出について8件報告。
(10) 9月11日に東京地域支部連合会学術関係者と同窓会学術部委員会委員との意見交換会を開催したことを報告。
(11) 9月13日本学千葉校舎において大学・父兄会・同窓会（三葉会）企画の臨床研修医セミナーを開催したことを報告。
(12) 「2004　TDC卒後研修セミナープログラム」の内容を報告。
(13) 平成15年度逝去会員は9月10日現在で累計74名，規定により弔慰共済金を贈呈したことを報告。
(14) 4件罹災共済金を贈呈したことを報告。
(15) 9月4日に第32回同窓会主催全国ゴルフ大会が無事終了したことと，次回からのゴルフ大会開催日について，大学の希望を含めゴルフ委員会で改めて検討することを報告。
(16) 臨床研修医のための「臨床研修医向け歯科医師賠償責任保険のご案内」の資料を配布して，保険会社の選定や保険料を共済基金で負担することについて共済検討委員会で検討することを報告。
(17) 地域支部連合会選出理事報告の中で，久保木理事（関東）より野口英世が千円紙幣に登場するに鑑み野口と血脇先生の関係をもっとアッピールする方法がないかと話題になったことが報告された。また，澤田理事（九州）より会員逝去の遺族から病名を伏せたい旨の申し出がある場合，支部長の裁量に委ねてよいかとの質問に対し厚生部担当理事から，支部長の裁量に委ねることを決定している旨回答された。

協議事項

(1) 推薦会員退会願いについて3件承認。
(2) 平成16年度事業計画書（案）について事業内容

を協議の結果，一部修正のうえ承認。

⑶ 平成16年度東京歯科大学同窓会収支予算書（案）について説明，協議の結果，承認。

⑷ 平成15年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会，懇親会日程(案)について説明，協議の結果，承認。

⑸ 会則および施行細則の一部改正（案）について説明，協議の結果，一部訂正のうえ承認。

⑹ 会費等納入延期・免除に関して協議。会費等納入延期の会員に，会費等納入延期満了の2ヵ月前に納入延期期間が満了することと，病気など止むを得ない事情で納入延期満了後も会費等納入の見込みがない場合は，その理由を明記した書類とともに会費等納入免除願いを提出されたいことを連絡する。ただし，支部会員にあっては支部長を通じて連絡する。

⑺ 会費等納入免除願いが提出，理事会で承認された場合は，提出年度から会費等を免除する。ただし，会費等納入延期期間の会費等については請求する。

⑻ 平成16年度卒後研修セミナー30周年記念事業予算について協議，卒後研修セミナー積立金より取崩し記念事業に充当することを承認。

⑼ 会費納入通知書のコンピューター作成について協議の結果，次回理事会に提出することで承認。

⑽ 同窓会主催全国ゴルフ大会収支の報告についてゴルフ委員会で検討することを報告。

第4回理事会

平成15年10月18日（土）午後2時30分

於　特別会議室

出席　嘱託1名を含め25名

議長　梅田副会長

会長挨拶

各部担当理事が協力して編成された「平成16年度東京歯科大学同窓会収支予算（案）」が前回の理事会で承認され，評議員会に提出の運びとなったことに対し感謝の言葉を述べた。

黙　　禱

神奈川湘南支部・中井俊次氏他6名のご逝去を悼み，謹んで哀悼の意を表した。「起立黙祷」

会務報告

⑴ 平成15年9月22日から12月22日までの日程について報告。

⑵ 評議員会出席者を報告。

⑶ 評議員会代理出席届について報告。

⑷ ホームページをリニューアルしていることを報告。

⑸ コンピューターによる会費納入のデーターベースを作成中でこれが出来上がり次第，専門業者に手直しを依頼し完成させたいことを報告。

⑹ 本会会計のOA化を図るため，会計ソフト弥生会計を導入し，平成16年度から実施の予定で進めていることを報告。

⑺ 学術講演会講師派遣交通費の支出について4件報告。

⑻ 9月13日開催の歯科臨床研修医のためのセミナーにおいて実施したアンケート結果の内容を説明。

⑼ 10月10日開催の第6回大学・父兄会・同窓会三者懇談会の内容を説明。

⑽ 宛先不明で返送される会報があるので，住所等変更した場合は必ず届出されたいことを依頼。

⑾ 平成15年度逝去会員は10月15日現在で累計80名，規定により弔慰共済金を贈呈したことを報告。

⑿ 10月15日にゴルフ委員会を開催し，次年度の同窓会主催全国ゴルフ大会は大学の事情を勘案し，8月26日神奈川県で開催する予定であることとゴルフ大会の会計を同窓会監事に報告することを説明。

協議事項

⑴ 平成15年度同窓会評議員会・定時総会での役員の役割分担と報告時間の配分について提案し協議の結果，一部修正のうえ了承。

⑵ 会則「第10章会務処理（会務処理機構）」に「保険部」と「情報部」を新設した会則改正（案）を評議員会に議案として提出したいことを説明，協議の結果了承。

⑶ 本学の正式なロゴマークが明確でないとの意見があり，大学に問い合わせの結果正式なロゴマークが明らかになったのでこれを掲示し，各地域選出理事に配付して今後このロゴマークを使用されたいことを説明。

絵の寄贈に感謝

東京歯科大学同窓会常任理事　奥　田　克　爾

同窓会の先生に東京歯科大学の千葉病院，市川総合病院，水道橋病院のいずれかに患者が安らぎの気持ちになれる風景画や明るい花の絵画を寄贈していただきたくお願いいたしました。同窓会の先生が描かれたものや，愛蔵されておられた素晴らしい油絵を沢山お送りいただき，感謝の気持ちでいっぱいです。改めて石川達也学長の感謝状を贈らせていただきます。同窓会報にはその絵を白黒写真で紹介します。今回は千葉病院に病院長と相談のうえ，飾らせていただくことになりました。千葉病院においでの際は，ぜひ多くの先生に実物をじっくり鑑賞していただければと思っています。

今回，寄贈いただいた同窓の先生は下記のとおりです。個展終了後あるいは病院にふさわしい絵を描いている最中の先生からも送られてくることになっています。さらに，これからもぜひ病院のアメニティになる絵の寄贈をお願いいたします。

1．昭和16年卒（堅久会）
　小川　渉先生
2．昭和20年卒（五十一期会）
　渡辺孝夫先生
3．昭和24年卒（いとし会）
　皆川　明先生
4．昭和48年卒（七十八期会）
　西宮　寛先生
5．昭和53年卒（八実会）
　小杉宗弘先生
6．昭和61年卒（彗星会）
　古賀剛人先生

今回の絵の紹介は，医学博士小川渉先生から寄贈いただだいた2点です。

富士山のどっしりとした絵は，二重作龍夫画伯の「虹晴富士」（1977年）の30号です。画伯は，フランス国際展副会長，太陽美術会賞，フランス文化勲章などの受章者です。

馬の絵は，三上隆彦画伯の白黒で嘶きが聞こえるような生き生きした「仲間達」である。画伯は，日輝展代表，紺育サニー美術院長などの受賞者で馬の絵では第一人者である。

水道橋病院の今

補綴科の近況と口腔インプラント科

水道橋病院補綴科　安　達　　康

補綴科では

補綴科は現在，専任者が6名，病院助手が6名の合計12名と大所帯になり，若い力と活気に溢れ毎日の診療にあたっております。補綴科で拝見している患者様の延べ数，医療収入は年ごとに伸びを示し，病院運営の一端を担っていることを実感しております。

診療時間中は，看護師，歯科衛生士の協力のもとに数多くの患者様の診察や治療にあたっておりますが，診療チェアー9台のうち1台を感染症の治療用に割いているために予約もなかなか自由にならず，昼休み，また診療時間の過ぎた後にまで延びることも稀ではありません。また，診療時間の終わった後にはラボ室に集まり，技工をしたり担当している症例の問題点について話し合ったり批評し合ったりして，和気藹々のうちにも切磋琢磨しつつ貴重な時間を過ごしております。

さらに，補綴科では歯科治療全般に加えて，野村貴生助手が中心となってブローネマルクシステムによるインプラント治療を手掛けており，ご紹介いただいた患者様等の治療にあたっております。また若手の医員のインプラント治療への参加も活発で，治療効果と同時に着実に教育効果も挙げております。

口腔インプラント科誕生

平成15年10月1日，歯科補綴学第三講座の関根秀志講師を主任として迎えて口腔インプラント科が新設されました。これは従来，専門外来と補綴科の双方で行われていたインプラント治療を統合し，水道橋病院の診療科として立ち上げたものです。関根講師は米国ワシントン大学のルビンシュタイン教授のもとで顎顔面の症例を中心に幅広くインプラント療法の研鑽を積んでこられました。関根主任を補佐するのは9月まで補綴科に所属し，インプラント治療を支えてきた田口達夫助手で，新天地の医局長として今後の活躍が期待されます。また，事実上新設の科を仕切っているのは岩田周子歯科衛生士で，診療の準備や補助業務，電話対応・予約など縁の下の力持ちとして忙しい毎日を送っています。科としての当初の定員はこの3名でスタートしましたが，水道橋病院の各診療科のいわゆる垣根が低い環境が幸いして，各科の医員および歯科技工士を含め歯科衛生士などの補助系の応援態勢は充分のようです。

さらに，従来毎週火曜日に専門外来の一つのインプラント外来として高い実績を挙げてこられた武田孝之，飯島俊一，椎貝達夫の各先生方も引き続いてご指導と診療にご協力を戴けると聞きましたので心強く感じております。

絶大なるバックアップを

口腔インプラント科では臨床面での充実だけでなく将来的にインプラントに関する教育や研究の面でも企画がなされているようで期待の大なるところがあります。私たち補綴科とは深い関係を持つ口腔インプラント科の発展する様子を見守って参る所存ですが，皆さま方には口腔インプラント科に対する絶大なるバックアップを賜りたくよろしくお願い申し上げます。

補綴科，口腔インプラント科に関するお問い合わせ，ご紹介等は下記までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

補綴科の電話は03－5275－1722，口腔インプラント科の電話は03－5275－1760です。

関東地域支部連合会

平成15年度総会

平成15年度東京歯科大学同窓会関東地域支部連合会総会が，埼玉県支部の当番により，9月6日(土)大宮ソニック大宮市民ホールで開催されました。

大学より金子　譲副学長，同窓会本部より梅田昭夫副会長，金子雅英副会長，久保木康輔理事。日本歯科医師会より平井泰行常務理事，埼玉県歯科医師会より，氏家英峰副会長，竹井正章監事を来賓としてお招きし，盛大に行われました。

12時より，支部長懇談会が行われ，13時より大塚信郎埼玉県支部幹事長の司会のもと，まず物故会員に黙祷を捧げ，つづいて増田紀男連合会会長の挨拶，ご来賓の梅田副会長，金子副学長に挨拶をいただきました。埼玉県を代表して氏家副会長より歓迎の言葉があり，座長，副座長の選出を行い，総会が行われました。各担当の先生より，報告事項があり，議案は全会一致で承認されました。つづいての協議事項については，事前に各県より議題を提出してもらい，歯科衛生士の問題，未入会会員の問題，会費未納などについて，活発な意見の交換が行われ有意義な討論ができました。次期当番県の山梨県支部上田昭雄支部長の挨拶につづき，総会講演会は平井常務理事を講師に時局問題「次期診療報酬改定を迎えて」という演題にて，行っていただきました。しかし，1時間という短い時間のため，十分な話が聞けず残念でした。

記念講演会は，NHKアナウンサー松平定知氏に「私の取材ノートから」というテーマで講演をしていただきました。現在「その時，歴史が動いた」の番組制作にあたっての秘話を聞くことができ大変おもしろい講演でした。

場所をパレスホテルに移して，5時30分から7時30分まで懇親会を行い，久し振りに会う他県の会員との酒宴は盛り上がり，あっという間にお開きの時間がきてしまいました。また，田中　梢さんのピアノの演奏もあり，とても楽しい時間を過ごすことができました。

（広瀬　守 記）

東京地域支部連合会

総会開催

秋も深まり行く11月1日(土)午後2時よりTDCビル・血脇記念ホールにて第33回東京歯科大学同窓会東京地域支部連合会総会が開催された。上野眞人支部連合会専務理事の司会のもと武石醇作支部連合会副会長の開会の辞に続き，大友　好支部連合会会長が「この2年間，可もあり不可もあったがベストを尽くしました。ご支援ありがとうございました」との挨拶があり，来賓として石川達也学長は「大学の近況として，財政的にも，年間かなりの蓄積ができている。学校発展のためには臨床，教育，研究をバランスよく行うことが大切である」と挨拶された。天野　恵同窓会長は「本部同窓会も順調であり東京地域支部連合会と協力して全国に冠たる同窓会でありたい」と挨拶された。同窓の貝塚雅信東京都歯科医師会会長は「同窓の先生方のご尽力により再選され感謝いたしております」とのお話，槇石武美水道橋病院副院長は「水道橋病院も10月から口腔インプラント科を立ち上げた」との挨拶を，同窓の佐藤春海東京都福祉局社会保険指導医療官から「大学が変わる，世の中も変わる。産学一体となって臨床，研究を通じて歯科医師の地位向上をめざしてほしい」とのご挨拶をいただいた。

総会の議長には足立支部の渡辺公武先生,副議長には杉並支部の村上圭先生が選出された。報告事項として平成15年度一般会務報告を上野専務が，平成15年度会計現況報告を支部連合会の小林俊春会計担当理事が行った。議事に入り会計収支決算，事業計画，予算，会費の額等が決議された。最後に次期役員改選の議案においては，大友会長が推薦され三選された。三選されて大友会長は「推薦された以上ベストを尽くします。さらなるご理解，ご協力をお願いいたします」との決意を述べた。続いて鹿島隆雄支部連合会副会長が閉会の辞を述べた。

総会終了後水道橋グリーンホテルに場所を移し，懇親会を行った。冨山雅史支部連合会総務理事の司会により進行し，乾杯の挨拶のなかで同窓の東京都歯科医師連盟副会長の大曾根正史先生は，「今度の参議院選挙結果次第では歯科界が認められなくなる可能性すらある」と示唆された。その後の懇親会でも和気藹々のなかにも活発な意見交換がおこなわれ水道橋の長い夜は梅田昭夫支部連合会顧問の中締めで終了した。

（広報担当理事　塩津一郎 記）

渡辺議長と村上副議長

三選された大友会長

平成15年度大友執行部

ご来賓の方々

信越地域支部連合会

平成15年度総会

平成15年度信越地域支部連合会総会が，９月27日(土)上諏訪温泉，ラコ華乃井ホテルに於いて，井上裕理事長，天野　恵同窓会長，池田漢同窓会専務理事，金子　譲副学長，小池平一郎同窓会理事を招き，新潟県からは，五十嵐重之支部長をはじめ７名，長野県下からは，35名の会員の出席のもと盛大に開催された。

総会は，笠原克彦連合会会長の挨拶の後，来賓の方々から祝辞を頂戴し，大学の近況報告に続く議案も満場一致の拍手で承認された。

その後，記念講演は，薬理学講座川口　充教授による「21世紀の薬物療法をめざして」の演題のもと，薬物療法の現状と将来への展望について，大変有意義で興味深い講演が行われた。

懇親会は，木遣保存会若手，矢崎弥枝さんの美声で開宴し，長野県会員伊佐津和朗ファミリージャズバンドの演奏をバックに和やかなひと時を過ごした。最後は，小池平一郎理事の指揮により生バンドで校歌斉唱後，盛会裡のうちに閉会した。

２次会は，ホテル内のクラブに30余名の会員が集まり，井上理事長の「奥飛騨慕情」を皮切りにカラオケ大会で盛り上がった。その後，理事長，来賓の諸先生は，我々と諏訪市内のクラブに出向かれ，夜の更けるのも忘れ，酒を飲み昔を想い，未来の歯科界について語られた。

翌28日(日)，ゴルフ大会が諏訪湖カントリー倶楽部に於いて，晴天無風の最高のコンディション下にて開催された。

成績は以下の通り（敬称略）

		OUT	IN	GROSS	HP	NET
優勝	武井利夫	48	46	94	18.0	76.0
準優勝	清水　潮	44	48	92	15.6	76.4
３位	林　健治	50	45	95	16.8	78.2

笑いの中に潜む真剣な眼差しが，なかなかの光景であった。

深まりゆく秋の信州で同窓会を心ゆくまで楽しくお付き合いくださった，理事長をはじめ来賓の先生方に深謝し，またいつか懐かしく思い出していただけることを願っている。

（池田守人 記）

東海地域支部連合会

総会

平成15年９月７日午後１時半より，東京歯科大学同窓会東海地域支部連合会が開催されました。今年の当番県は三重県です。愛知，静岡，岐阜，三重の同窓会会員が県庁所在地の津市「ホテルグリーンパーク津」に集いました。当日は天候にも恵まれホテル６階から伊勢湾の素晴らしい景色が展望できました。ご来賓として学長の石川達也先生，同窓会より会長の天野　恵先生，常任理事の梅村長生先生，同じく常任理事の坂井　剛先生，東海地区理事の寺本康郎先生，三重県歯科医師会会長の峰　正博先生をお迎えしました。日程に則り連合会会長の三重県武藤章美先生の挨拶のあと，９名の物故会員の先生方に黙祷を捧げ，ご来賓の先生方のご挨拶をいただきました。引き続き総会が開かれ，議長

に三重県岡　英治先生を選出し同窓会本部報告，庶務報告，会計報告が行われました。議事では次期開催県に静岡県を決定し静岡の喜田正昭会長がご挨拶をされました。総会は滞りなく終了し，記念文化講演会に移りました。津市に伝わる三重県無形民族文化財の「分部町 唐人踊り」です。これは今から400年前の江戸寛永12年に始まったもので朝鮮の外交文化使節「朝鮮通信使」が江戸まで往復する行列と服装，楽器を真似たものです。一時戦災で途絶えていましたが復元され，平成３年に三重県の無形民族文化財の指定を受けています。他県の先生方にはおそらく初めてご覧になる踊りを堪能していただき，終了後も一緒に写真を撮る先生も見られ楽しいひと時を過ごしていただくと共に三重県のお祭りの奥深さをご紹介させていただきました。午後４時より懇親会が始まりました。司会は三重県松崎正信先生が務め，各テーブルでは同窓ならではの和気藹々とした歓談姿があちらこちらに見られ，文字通り時間のたつのも忘れてしまいました。午後６時校歌を斉唱し散会となりました。

今年の連合会は愛知より21名，静岡より14名,岐阜より９名，三重より38名の参加者がありました。地理的なものがあり，開催県以外の参加が中々ままならぬものがありますが，久しぶりに会う同窓の先生との懇親には貴重なものがありました。三重県同窓の誇りである学長の石川先生をお迎えしての今年の東海地域支部連合会は盛会裏に幕を閉じました。（北野　晋 記）

九州地域支部連合会

総会

東京歯科大学同窓会九州支部総会が，平成15年10月18日(土)午後６時より，本学同窓会の高原映忠常任監事，澤田　稔理事，野間弘康副学長のご来臨をいただき，また，九州各県より44名の同窓会会員の出席を得て，長崎市の料亭『松亭』に於いて開催されました。

総会に先立って，九州各県支部連絡協議会が各県支部長，高原映忠常任監事，澤田　稔理事のご出席のもと，午後５時より開催され，同窓会本部の現況報告，各県支部長の現況報告，九地連会計報告の後，活発な意見交換が行われました。

総会は，懇親会に先立って開かれ，宮内孝雄長崎県支部長から歓迎の挨拶，高原映忠常任監事の同窓会現況報告，野間弘康副学長の大学近況報告などのご挨拶をいただき，その後，出席者一同で記念撮影を行いました。

懇親会は，長崎卓袱料理のしきたりにより，“尾ひれ”お吸い物をいただくことから始まりました。澤田稔理事の乾杯の音頭の後，先生方は旧交を温めあい，また，恩師にめぐり合っての楽しい歓談の花が咲き，和やかな内に宴もたけなわとなったところで，次期開催県熊本の中根俊吾支部長にご挨拶をいただきました。最後に校歌斉唱，万歳三唱で無事，総会並びに懇親会を終了しました。

（立川正明 記）

神奈川県支部連合同窓会

医歯大同窓会との合同学術研修会

今年で7回目となる東京医科歯科大学神奈川同窓会との合同学術研修会が，10月26日(日)神奈川県歯科医師会館において開催された。開催に際し，今回は会員スタッフや歯科衛生士専門学校卒業生にも呼びかけ，86名の歯科衛生士を含め総勢200余名が参加した。

今回の研修テーマは，かかりつけ歯科医として，患者さんに信頼される診療スタイルをどのような考え方に立って確立していけば良いかを模索できればと「患者さんと長くお付き合いするためには」とした。

研修会は冒頭，西野一紘医歯大県同窓会長，関　泰忠本会同窓会長の挨拶のあと，基調講演に入った。はじめに,埼玉県所沢市開業の内山　茂先生（医歯大S52年卒）とスタッフ衛生士の波多野映子さんから「プロフェッショナルケアを通して見えてきたもの」と題して，PMTCを基本とした口腔ケアの位置づけやキュアとケアのバランスを重視した長期メインテナンスの環境作りについて講演があった。次に，東京都東村山市開業の三上直一郎先生（東歯大S49年卒）とスタッフ衛生士の三多野香世さんから「ブラッシング・セルフケアを通して見えてきたもの」と題して，開業以来，一貫した方針である「予防に根ざした歯科医療」と「ブラッシングを基本としたセルフケア」の実践や，無理のない患者さんとの関係をどう築いているかについて講演があった。

その後，基調講演を踏まえ，討論会に移った。まず，大藤芳樹先生（医歯大）と紺野義之先生（東歯大S58卒）の両会員から症例提示があり，それを導入にして座談が進められた。

診療初期において，主役である患者さんの思いをどう引き出すか。その上で医院の考えをどう伝えるか。「患者さんとの長いお付き合い」の中から何が見えてきて，それを医院スタッフの連携と医院全体の能力アップにいかに結び付けているのか。また，リコールシステムでの注意や,ここぞという時の「殺し文句」まで，かなり踏み込んだ内容の討論が展開された。座長の中島信也学術担当常務理事の巧みな進行に加え，同窓という気安い雰囲気も手伝って，まさにそこが知りたい，聞きたい話が，4人の講師からうかがえた。

（高橋　庸 記）

クラス会だより

十　六　会　　昭和19年９月卒

総会は秋雨の多い中，好天にめぐまれた10月23日（木）熱海の錦浦に立つ，ホテルニューアカオのロイヤルウイングに於いて開催。熱海駅より，シャトルバスにてチェックイン。１：00よりの案内に集まる会員33名申込の中，28名早々の到着。各自個室，ツインに入室後，館内で花たちの彩りに触れ，相模湾を一望するガラス張りの２階ロイヤルラウンジで無料のティーサービスを受けて久し振りの久闊を叙す。三々五々25万坪のホテル敷地に大自然を有するハーブガーデンへ青色のライトバンにて庭園めぐりを楽しむ。中央に美しい噴水を配したフランス式庭園，バラの原種が植えられたイギリス調のオールドローズガーデン，世界一巨大盆栽が置かれた純日本式庭園「天翔」を散策して，総会までの時間を温泉に入りくつろぐ。客室に落ち着いた会員家族は洋室でゆったりとした広さで旅の心を優しく和ませてくれる相模湾の眺望の良い大きいガラス張の窓辺を持った部屋で疲れをいやす。総会は定刻５：30「扇の間」に於いて椅子席にて開く。開会は北川君司会の元始まる。

挨拶は福本君が昨年来の会務報告と今回まで故人となられた会員の奥様方へのご案内を飯田君，鈴木錘美君と共に出し，想いで深い会を催してゆきたいと考え依頼をした次第で，本日ここに小堀先生夫人と家族３人，横山先生夫人を迎え河合先生夫人は捻挫で欠席になったことを報告し，諸兄の協力に感謝して，ゆったりとしたホテルで楽しい１日を過ごしたいことを述べた。故人への黙祷を行い，報告事項，会計報告を行い承認される。

来年は東京歯科大学十六会卒業六十周年記念総会として，１泊２日の日程で記念祝賀会を行うことに決定し，日時，場所，会費，来賓，記念品，記念誌，宴会等について会員の意向をうかがい，東京会一任となる。

元気な楽しい総会にするため，山﨑　智君，飯田精一君，津戸英守君，金子義泰君，生田政明君，城所進君を幹事に追加承認を受ける。

続いて宴会に移り名古屋の会田君の乾杯に於いてこうして80歳になって元気で出席出来ることの感謝のことばを噛みしめて，海の幸の和風会席で時を過ごす。出席者の近況報告に加えて，今回は88名中70名の返信があり80年を過ごして来た欠席者の近況報告を北川君より紹介していただき２時間をあっと言う間に過ごす。

故人となられた会員の奥様方に案内を出し，次に述べる方々から返信をいただく。北海道の澤田露子様，池田満喜子様，故三谷銀子様，青森の小川栄子様，石川の菊地柳子様，東京の田村実智子様，本山正子様，坂　順子様，鹿野規子様，金沢相子様，佐藤わか子様，栃木の石塚トミ様，岐阜の河合典子様，京都の森岡様，島村恵美子様，四国の後藤歌子様，九州の広田玲子様，小堀敏子様，横浜の横山陽子様，古田真矢子様，会津の石田恵美子様の21名で体調の良，不良に加えておもいやりのある生活をされておられることの心強さを感じとれました。

朝食後は三々五々グループ同士に分かれ，来年の総会を約して解散。参加者は飯田精一，津戸英守，成田　始，栗原恒夫，同由来夫，小堀敏子，津田寿子，南条栄子，東原嘉子，山﨑　智，大野祐之，横山陽子，北川逸三，金子夫妻，生田夫妻，堀江夫妻，会田夫妻，城所親娘，福本夫妻，山根夫妻。

（福本　忍，北川逸三，山根照人　記）

仁　蜂　会　　昭和15年３月卒

わが仁蜂会は，昭和11年の２・26事件直後に入学したクラスである。その年の７月には日中戦争が始まり，東亜共栄圏の風雲いよいよ急を告げ，10年戦争に突入して動乱の中の学生生活であった。皇紀2600年の昭和15年３月卒業するや直ちに，大陸の戦野に，はたまた太平洋の島々に，兵となり，将校となってばらまかれた。かくして多くの優秀な同期生が戦場に消えていった。

卒後60余年の今日，仁蜂会員171名中現有勢力36名（若干名不詳者あり）となり，会員はよわい85歳を越した。

戦後営々と続いた仁蜂会総会と懇親旅行は，東歯同窓会会報誌上のクラス会便りをみると，今では最古参クラスになった感じがする。

今年の総会と懇親旅行は愛知県の知多半島で開催された。

極力参加を呼びかけた結果，顔ぶれは３名程違うが，昨年と全く同数の会員11名，ご夫人４名，計15名であった。

棟久，村田，山田，山田夫人，永田，永田夫人，愛知，愛知夫人，吉井，大橋，藤井，小鹿，小鹿夫人，柳田，平，計15名（敬称略）。

参加出来ない大部分の方が足腰の弱さを訴えた。第１日は名古屋駅集合で，バスにより知多の野間大坊とえびせんの里を訪れた。野間大坊は平治の乱に敗れた源　義朝が身を寄せた，源氏歴代の家臣で野間の住人長田忠致に風呂で暗殺された所である。「せめて１本の木刀さえあれば」と叫んだ義朝の墓碑は，参拝者の奉納した板の木大刀で埋もれていた。木大刀を供えている大橋君の姿が印象的であった。えびせんの里に大展示即売場があるのも珍しく，試食と無料のコーヒーお茶で満腹しておみやげを買い忘れた人もいた。夜の総会と宴会は内海温泉の「呼帆荘」で開かれた。宴会の主役は例年通り棟久君と山田君で，賑やかな一夜をすごした。

第２日は常滑の陶芸教室の実技である。全員が作業衣で，東歯時代の実習よろしく，思い思いの作品を仕上げた。１ヵ月後に焼き上がった作品が各人にとどくことになっている。

第２日午後は常滑焼きの大展示即売場の広大な「セラモール」を訪れ，それぞれ見聞を広めた。知多にはミツカン酢の里，唐人お吉の生誕地，野間灯台，新空港建設，約１万羽の川鵜の生息地，フグやタコの本場，日間賀島や篠島等観光スポットに事欠かない。

第２夜も前日と同じ呼帆荘で，棟久君の「どじょうすくい」の踊りや林田君の「どどいつ」等で盛り上がり，最後は柳田君の音頭で校歌の唱奏で幕となった。最後の第３日はバスで熱田神宮を訪れ参拝の後，昼食をとり，名古屋駅で解散した。別れるにあたり，孫のようなガイドさんが，別れを惜しんで泣き出したのが印象的に残った。足腰をきたえ，また来年の参加者の一人でも多いことを期待する。

（平　光雄 記）

五十鈴会

昭和25年卒

九十九里浜にひとすじに秋の風がみえる。遠く打ち返す波の音がとどろく月の砂漠の海辺は少年からの夢が限りなく続くあこがれの姿であろう。

待ちに待った平成15年度全国五十鈴会千葉総会は，10月2日(木)11時東京駅八重洲口から特別バスで，1年ぶりに会った旧友達の和気藹々の声に満たされて，首都高速東京湾アクアライン経由で出発した。空母位の大きさの海ホタルで休憩，東京湾の全景を甲板艦橋から眺め，風も心地よく壮快である。

オークラアカデミアパークホテルで昼食，鋸山へ，ロープウエーで4分の空の旅は山頂から遮るものなく329mのパノラマが広がり，30mを越す石の大仏が強風に強い低木の緑に囲まれて美しく，定刻には鴨川グランドホテルに到着。6時に総会が開催された。

司会早川幹事で天野会長挨拶，高原千葉総会幹事の開宴挨拶，大山代表幹事による今年度逝去された河江力男兄，平野　裕兄，中村　淳兄，櫻井和人兄，太尾政雄兄に黙祷した。

新幹事として村上守正兄にご協力いただくことになり紹介，承認された。

中尾会計幹事より平成14年度全国五十鈴会歳入歳出決算書が提出され，早河監事，天野　恵監事による監査報告がなされ承認された。会費の件について，繰越金のみで会の運営可能の見通しが立ち，平成15年以降6年位，会費徴収一時中止の提案が中尾幹事よりなされ，満場一致承認された。

本年勲五等を叙勲された田代教平兄，神藤義昭兄の栄誉報告に全員拍手を送る。本年度の総会はこれで終わり，閉会の挨拶は短く宴会場へ席を移す。

力強い河西兄の声で乾杯宴会は始まりました。積もる話に飲む酒に日本一の水揚げの海鮮料理がそろうと陽気になる。新旧おりまぜてのカラオケ大会飛入り参加の高澤兄の同期の桜と会長十八番の歌を唱和，またたく間に2時間が過ぎ各自解散。

翌朝太平洋に昇る太陽は点が赤く，急速に丸くもえる赤球は息をのむ美しさである。

天津小湊町誕生寺の山門にもとどく蘇鉄。鯛の浦では深海魚の目の下2尺もある鯛の浮上に驚き，御宿海岸の月の砂漠のらくだに乗った2人の像は砂浜から太平洋へ空へと続く無限の美しさを誘う。

ホテルニューハワイで昼食。犬吠崎灯台から水平線が180度展開し地球が丸いことがわかる。犬吠崎京成ホテルで余情会は豪快な活作り宴会は盛り上がり，中尾兄持参の楽器で校歌を合唱。次の朝は日本で一番早い旭日スポットで起床。香取神宮見学，旅の駅米屋観光で昼食後成田山新勝寺に向かう。井上　裕先生の特別のご配慮により護摩法要をしていただき，伊藤忠作の太平洋の日の出障壁画のある特別室や秘仏を見学，佐倉駅で潮さい乗車。

この度の千葉総会では千葉代表幹事高原映忠兄はじめ川島　康兄，松本　保兄，本山　博兄のご協力で楽しい観光とグルメの味の旅を満喫し親睦交流を深めることが出来て感謝いたしております。

いろいろ心くばりをしていただき本当にありがとうございました。

写真提供・佐藤泰彦兄

（川上正義 記）

五十二期会

昭和22年卒

級友近況

故関口惠造君：長男関口昌一氏（50歳，城西歯科大卒）10月26日投票の参議院埼玉補欠選挙で初当選です。

同じ秩父の皆野町から２人の歯科医が立候補し，11月９日の衆議院選挙の前哨戦とあって，自民，民主各党主始め総力戦の応援のなか，自民党公認で民主党公認女性歯科医と共産党候補の２人を制しての勝利でした。

泰子夫人も，埼玉県議３期の実績とはいえ突然の参議院選立候補に，惠造君の時の52期級友諸兄の温かいご支援を思い出し感無量とその心情を洩らしておられて，親子２代の喜びはさぞかしと思われます。

関口君，息子でかした，おめでとう。

蒲　郁次朗君：10月中旬，東京新宿ヒルトンホテルでのメンバーズダイヤモンドクラブの会合に出席と聞き，東京例会をと策したもののうまく整わず，連絡のついた橋本慶一郎夫妻の来訪で久々の一刻を楽しんだとのこと，再見。

（酒匂睦夫 記）

千　秋　会

昭和27年卒

第52回総会は，11月８日東京永田町のキャピトル東急ホテルで開催された。

出席者は８名というこれまでの最少の人数であった。年々歳々老いていくのだから，どうしても低調になるのは避けがたいと思う。クラス会存続について色々意見を出しあった次第である。

卒業以来毎年総会を持ち，52回を数えたのだからこの辺で打ち切りにしようかとか，やはり淋しいからこれまで通り，出席人数が少なくとも開催すべきとか。色々な話が出た。結論として，これまでのように総会という名のかたい集まりではなく，日時，場所を決めて年一回懇親会のつもりで集まりを持つことにしようと一致しました。会費も年５千円を千円にしたらという案が出ましたが，これでは会の維持費がまかなえないことになります。３千円ということで幹事会で討議し，来年の集まりできめようと考えています。

年々鬼籍に入る人がふえてクラス会員は現在102名になりました。人数の減っていくのはこういう会の宿命ながら180名近くの人員がもうすぐ100名を切るということは，甚だ淋しい気がします。来年の懇親会には，日程を都合して多数の出席をお願いします。

昨年９月の総会がすんでから次の６名の方が亡くなりました。青柳文雄君（東京）14年９月，團　順一君（横浜）12月，三井恒雄君（山梨）15年７月，梶ヶ谷守兒君（川崎）９月，関口保彦君（静岡）10月，岡邦彦君（横浜）10月。ご冥福を祈ります。

当日出席者，石山，齋藤，伊藤　浩，木田，芳賀，岡野，石川，三浦。

（三浦美儀 記）

一　期　会　　昭和28年卒

大学卒業後50年を迎え，平均年齢75歳となった平成15年10月11，12の両日，クラス会が開かれた。

福島県二本松市岳温泉の和風旅館，松渓苑にクラスメイト28名（うち夫人8名）が集い旧交を暖めた。

11日(土)は，すぐ近くの安達太良カントリークラブで，恒例のゴルフ会があり，会員9名，夫人4名の計13名が参加した。絶好の秋日和に恵まれたことも幸いして，70歳を過ぎても皆でプレイが出来ることを悦び合いながら，また山の紅葉を眺めながら，ゴルフの集いを楽しんだ。その後旅館にかけつけた。

クラス会総会は，午後6時半から開始され15分程で原案通り承認されて終了した。その後，皆で記念写真に収まり，別室の懇親会が始まった。1年ぶりでもあり，参加者全員現況近況の話に花が咲き，しばらく時と歳を忘れた。とても愉快なひとときであった。

翌12日(日)は，朝方雨が降って，皆を心配させた。8時半，マイクロバスと乗用車2台に分乗して，丹羽家十万石の田舎町二本松に向かった。始まってから49回目となった菊人形展に，歴史の名残りと，少し早めの菊の香を暫し楽しんだが雨ふりがとても残念。次いで，歌舞伎，謡曲でその名を知られる，安達ヶ原の黒塚に，ありし日の様を偲んだ。幸いなことに雨が止んで陽が差して来た，とても嬉しい。傘を収めて高村光太郎，智恵子の純愛物語にうたわれる記念館を見学した後，鞍石山に向かう。光太郎が智恵子に説明した「あれが安達太良山，あの光るのが阿武隈川」を刻んだ記念碑のある眺めの良い丘で，暫し散策して故事を偲ぶ。これが予定の観光コース。その後，昼食休憩となって，皆で歓談する。

午後からは井上窯を訪れ，皆で記念の皿を作って，時と名を刻み，焼き上がったら送り届けてもらうことを楽しみに，再びバスでJR郡山駅に向かった。

予定通り午後5時少し前に郡山駅前に着き，皆が再会を約し，握手して散会した。

クラス会の皆さん，お疲れさまでした。

（渡辺　弥 記）

二　期　会　　昭和29年卒

平成15年10月5日(日)6日(月)7日(火)伊豆下田，熱海と2泊3日の行程で，第47回総会・親睦旅行が行われた。当初，20名参加の予定であったが最終的には13名になってしまいました。しかし，宴会では昔とった杵柄？得意の芸が飛び出し抱腹絶倒！まだまだ元気!!

2日目は，民芸館，ペリー来訪時の歴史館，唐人お吉の資料館，宝福寺，境内にあった〈ボケ〉予防のお地蔵様に最敬礼，少々のお賽銭を！（少ないと効き目はないかも？）

さらに，北上して有名な七つの滝を見学，イオンを一杯もらって散歩，二日目のお宿は熱海，楽しいクラス会でした。卒後，50周年に向け，皆が驚き，楽しめるような迷企画を

立てたいと思っております。

次回，多数の参加を今からお願いしておきます。　　（幹事一同）

踏　志　会

昭和41年卒

第72回踏志会東京支部会

昭和60年，第20回踏志会総会東京大会（新高輪プリンスホテル）終了後開かれた慰労会を基に『踏志会東京支部会』が発足した。以来18年間，年４回開催で72回，よくぞ続いているものである。

本会の会員は東京在住踏志会員を中心に，近隣県の有志会員を合わせて42名。常連は幹事を中心に７～８名であるが，数年ぶりの会員がひょっと顔を見せるなど，多い時は20名近くになる。歯科界の情報は勿論，政治・経済・文化論，あるいは子供のこと，趣味の話など，夕食をしながら，飲みながら，談論活発に会は進む。時には，スライドを使っての会員による学術講演会となり，また，友人を招いて他分野の話を聞いたりと，多様な集まりになっている。

今回は，総会を秋に控え，東京支部例会に併せて全体幹事会を開催した。

８月25日，月曜日，夕刻７時。

神奈川からは，藍原，安藤，上田君，千葉からは黒田君，埼玉からは本間君が駆けつけ賑わった。東京勢は，青木，上竹，臼田，神谷，柴山，鈴木禎，野村昌の諸君。場所はご存知水道橋「後楽」の２階である。

今年の総会は，静岡磐田の西尾君が担当幹事。今その開催準備に忙しい。ご苦労様である。10月に入ったら確認の連絡が届く由。因みに現在の参加者は34名（内，会員は27名）とのこと。

「○○が返事を出してないが，行くと言っていた。誰か西尾に連絡してくれないか……」「俺も出してないから連絡するよ」と言った具合である。今年は大丈夫，来年は……。

来年は４年に一度の日本歯科医学会総会が横浜で開催される。日程をそれに合わせようと即決。会場は「パシフィコ」であることから，横浜開催。ホテルの予約が無理であれば，東京ということになった。いずれかでの開催が決定した。そして再来年の開催地の話となり，今まで開催してない所は，青森。その場で小泉，小笠原両君に電話をかける。携帯電話の手軽さである。少々渋り気味であったが，なんとか「二人で相談」するという返事を得て，皆一安心。

幹事会を終了，早速情報交換が始まる。母校の現況，歯科界のトピックス，世情の話題など，お銚子，ビール瓶の数が増す。

午後10時半すぎカンバン近くなってお開きとなった。

（神谷文彦 記）

福　祉　会

昭和44年卒

長良川で鵜飼をという高井稔郎君の思いが実現した。7年前に大病を煩い生死の淵から健康を取り戻した高井君が，奥様と共に第34回の74期生福祉会総会を前年和歌山大会での約束通り開催してくれました。

当日平成15年9月14日は台風の影響も，幸いさしたることもなく，6時過ぎ宿舎，岐阜グランドホテル前より全員一隻の屋形船に乗船，歴史を物語る岐阜城を頂く金華山を対岸に，その東南の稜線上の夜空に，金色に輝く大接近中の火星を仰ぎ，鵜匠の巧みな網裁きに時には歓声を上げ，しばし見入りました。ホテルに戻り穂積良治君の司会で総会に，高井君の歓迎の挨拶，柿澤　卓君から所用で出席していただけなかった石川達也先生からのメッセージと大学の近況，今年父兄会会長の高市武君にはキャンパスの様子等を話してもらい，次年度35回の福祉会，卒後35周年記念大会を引き受けてくれる東京地区の近藤　功君の受託の言葉の後，全道の集会で，ただ一人代表出席の合田成美君の乾杯で懇親会に入った。席上，鵜匠山下哲司氏より鵜飼の歴史，装束，漁法と納得の説明を受け，舟上，懇親会，幹事室での二次会と時をむさぼるように話に花を咲かせました。

平成8年旭川から始まった女性だけの前夜祭は今年も7名，前日滋賀県近江に集結，大型タクシーで湖東を散策，元気に合流して来ました。今回ゴルフは1組だけで，中田金一君，廣谷　勝君に高井，穂積の4名が岐阜関カントリーでプレー，また，学生時代，硬式テニス部でコンビだった合田，高木勇蔵両君の30数年ぶりに手合わせしたいとの要望に，笠原克彦君と及ばずながら私が加わり前日午後と当日午前，コートを借りいい汗をかきました。ビールの美味しかったこと，来年もと約束，仲間に入ってください。翌朝は，それぞれの予定に，来年東京でと散会しました。高井君，ご苦労様でした。

出席者は，合田夫妻，深水征人夫妻，古川清嗣夫妻，高市夫妻，廣谷夫妻，笠原夫妻，土屋　潔夫妻，武安一嘉夫妻，高井夫妻，穂積夫妻，小坂　肇・典子夫妻，高木・ミサヨ夫妻，中島勝則・敏子夫妻，山口邦江，末藤久美子，三田春美，伊藤れい，田部照子，中田，近藤，鈴木敏正，国島雅通，拓植敏生，林　良克，柿澤，高山暉邦，久松聰，夫馬，以上41名でした。

（夫馬眞也 記）

昭和24年5月25日 東京歯科大学助手会結成

正 木 光 児（昭和29年9月卒）

昭和24年終戦直後の生きていて良かったと言う安堵感と，急速に与えられた民主化にのめり込んで行った複雑な気持ちがようやく自分の物になろうとしていた頃，我が東京歯科大学も旧制大学の第一期生が晴れて予科の課程を修了して水道橋にやって来た。あれほど当局によって弾圧されていた言論の自由が人の生活の中に理解され取り入れられる時代に，大学の機構についても上層部の言うなりになっているだけの時代はもう終わり，若い教室員も大学を良くするためにはどんどん意見を具申出来るようになるために，助手会を結成しようではないかと言う意見が出て来た。従来は各部のしきたりの中より外に出られず一つの部でのみしか行動も出来なかったものを，横の連絡を密にして全体でどうするかを検討しなければ大学の発展はないという感じで基礎，臨床の各教室から2名の委員が出て有給無給助手全体が一つになろうとした。これこそ時代に即応した行動であったが，さてわれわれの意見や要望はどこへ持って行ったら良いかが大問題となった。今まで各部の助手ならばその教室の主任教授に話を持って行けば良かったが，助手会となると一部門一教室だけでなく全体の問題であるから部長，教授では筋とならない。当然学長に直結するものであるという結論になり，各部の教授，部長を通さずに奥村学長補佐の役職にあった三崎教授を通して直接学長に進言することに決まった。これら助手会の決定事項や大学からの通達事項については自分の教室，部に帰って助手を含む教室員全員に伝えることになった。口腔外科からは私と田村助手の二人が委員となっていたので医局に帰ってそんなことを毎回全員に伝えていた。大学では大変な改革が起こった様に思ったのか長尾教授と三崎教授とが血相を変えて医局に飛び込んで来て『大井教授をないがしろにして学長直々に進言するとは何たることか，大井教授を中心にした我々と君たちの間柄はそんなものだったのか？』何と長尾，三崎両教授は涙をボロボロこぼしながらの絶叫だった。でも仕方がないんだよなぁ，助手会は個々の部の物ではなく東京歯科大学助手会なんだものなぁ。これからである。今まで上の先生方には比較的受けが良かった私が，狭い廊下や階段ですれ違いに『お早うございます』と頭を下げても目をそらせて「ふん」といった感じで顔を背けられるようになった。相当強い意見もでたりした助手会のすべてを医局員全部に伝えなければならない委員だったので，損な，イヤーな役だった。それ以来どんなに一生懸命やっても『外科にはアカがいるってね』という噂が流れてしまった。

昭和24年というと
（東京歯科大学百年史・によれば）

2.12 市川病院に内科，外科新設
4.　大学第一期生予科の課程修了
　　水道橋へ登校
6.24 東京歯科大学病院開設認可，
　　初代病院長　花沢　鼎
9. 1 東京歯科大学歯科衛生士学校
　　開校，初代校長　杉山不二
10. 1 東京歯科大学病院開院
（補綴学教室の歩み・昭和61年8月によれば）

24年10月，溝上喜久男教授，病院長に就任。などのあった年である。

（昭和24年5月25日）ホールにて

広報委員会アンケート結果報告

指導的地位に女性が占める割合について

平成15年６月に「社会のあらゆる分野において，2020年までに，指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度になるよう期待する」という目標を数量で表したゴール・アンド・タイム・テーブル方式の努力目標が，内閣府男女共同参画推進本部で決定され，その後政府のいわゆる骨太方針2003で閣議決定されました。

歯科界の現在の状況からこの目標を考えると途方もない目標のように思われます。今回は，昨年10月の女性会員むけアンケートによる意識調査，本年２月の結果報告に続き，各支部への女性会員の参加数，歯科医師会，同窓会支部での活動を調査いたしました。

この調査を通じて，この努力目標にどのように同窓会や同窓会員が対応していくべきかを考える資料としたいというのが本調査の目的でもあります。

今回は，支部長宛てアンケートにより調べさせて頂きました。アンケートにご協力くださった多数の支部長に感謝申し上げると共に，ここで結果をご報告致します。

調査方法

アンケートの調査項目は次の通りです

アンケート項目

1．支部会員数　女性会員数
2．同窓女性会員が都道府県歯科医師会役員をしているか
3．同窓女性会員が郡市区歯科医師会役員をしているか
4．同窓女性会員が貴支部同窓会役員をしているか
5．同窓女性会員が上記以外の役員をしているか
6．女性会員に役員の依頼をしにくい事の有無

今回162地区（現在同窓会支部は110ありますが，支部会員の多い地区ではさらにいくつかに分かれています）にアンケートを依頼しました。回答は，106地区よりあり回答率は65%でした。

調査結果

地区の女性会員は全体の8.8%を占めていましたが，昭和24年～平成15年までの卒業生の女性割合は16.9%でした（表２）。女性会員入会率は男性に比べ大変低い事がわかりました。役員に関してはさらに人数が少なくなり，女性が一人も役員になってない地区が大多数でした。

役員依頼する上での問題点としては，家庭，育児のための時間不足が主にあげられていました（表３）。役員に女性がなるためには家庭の縛りや歯科医師会に対しての不満などが阻害要因として挙げられていました。しかし，同窓会地域支部役員や，歯科医師会以外の委員（介護認定審査委員等）には，少数ではあるが同窓女性会員も認められていました。

また一地区の会員数はその８割が60人以下であり（グラフ１），女性会員数も０から３人までの地区が半数認められています（グラフ２）。女性会員に役員を依頼しにくい理由として女性の絶対数が少ないという回答を得ましたが，調査結果でも少ない地区が多数でありました。

現在指導的地位に女性会員が占める状況は，かなり低

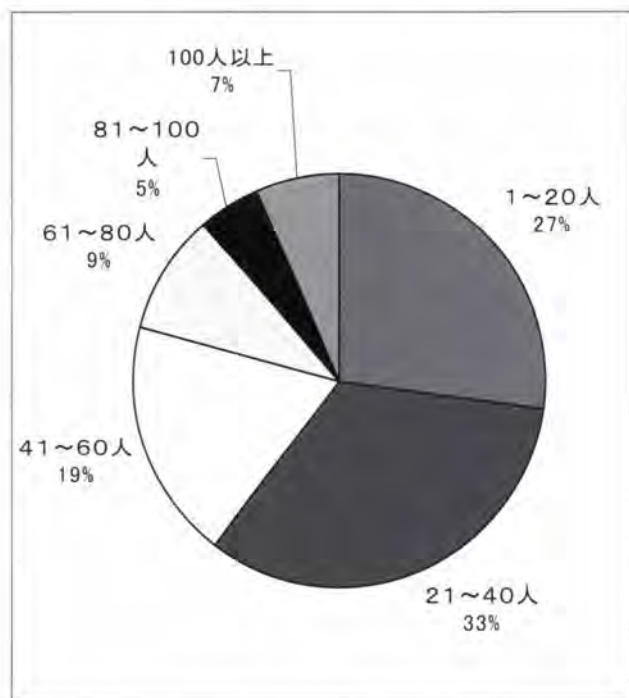
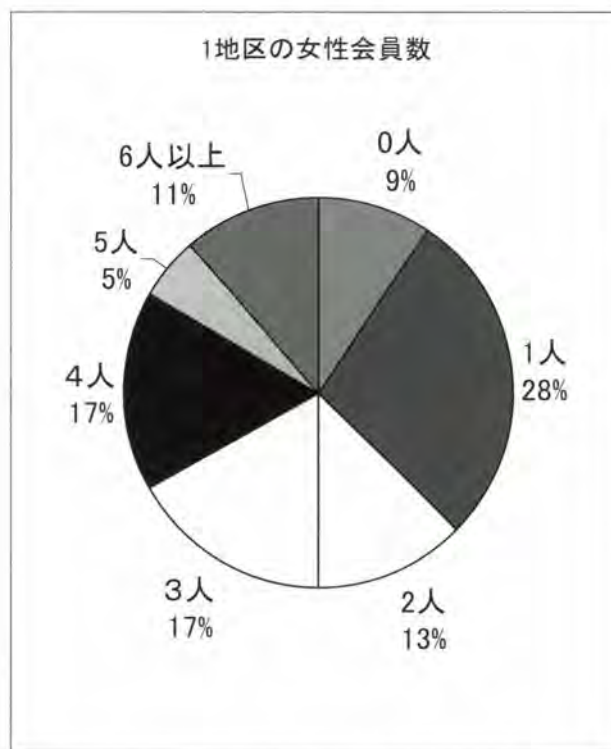
表２
昭和24年～平成15年
卒業生女性の割合

卒業生数	8,011人
女子卒業生数	1,353人
女子会員の比率	16.9%

表３　女性会員に役員を依頼しにくい理由

・家庭の事情　４件
・子育て　８件
・上記の理由で夜，外出しずらい　３件
・会に出席しない　２件
・会が保守的
・絶対数が少ない
・個人的に歯科医師会業務を嫌う
・現在歯科診療をしていない
・経営上
・ご主人が役員をしている

表１　調査結果

支部会員	女性会員数	都道府県 女性役員	都道府県 女性委員	区市町村 女性役員	区市町村 女性委員数	支部 女性役員	その他 女性委員	依頼問題 有 無
4,582人	404人	4人	2人	24人	12人	23人	10人	20件

グラフ1　一地区の会員数

グラフ2　一地区あたりの女性会員数

いようでした。

調査結果からの考察

(A)　女性チャレンジと女性歯科医

男女共同参画社会を実現するため,政府では「女性チャレンジ」という支援策を推進しています。平成15年4月男女共同参画会議基本問題専門調査会によって「女性チャレンジ支援策について」提言が取りまとめられました。その中で女性チャレンジの必要性については次のように三つの面から説明されています。

1）人間の行動を規定する「男らしさ,女らしさ」には,そのマイナスの面で自由な行動への縛りとなります。そのような縛りから解放されて,男女が共に生きがいをもって充実した暮らしができるようにするため,意欲と能力のある女性が社会で活躍し,男性もゆとりのある生き方を目指す,暮らしの構造改革の実現が必要である。そのために女性のチャレンジは不可欠なものと考えられています。

2）日本の女性は高い能力を持ちながら社会で十分活躍していないと国際的にも受けとめられています。高い能力を社会に活かすべきです。

3）意欲と能力がある女性が活躍できるように,企業や研究機関等の多様な人材を活かすための改革を進めることは,組織が新たな価値・発想を取り入れることとなるため,多様化する市場に迅速かつ柔軟に対応し,競争力を発揮するという観点から重要な戦略です。したがって,組織活性化の鍵は女性のチャレンジであるといってよいと考えられています。

このように考えられて女性チャレンジは進められています。現在の停滞する歯科界を活力あるものに導くため,この政府の主導する女性チャレンジへの議論が求められています。

今回の調査からは歯科医師会の理事として活躍している女性会員はごくわずかといってよい現況です。この状況を変革するためには多様な支援策が必要とされるでしょう。

女性会員の現状については今年2月の同窓会報にてご報告いたしました。出産,育児,家庭,歯科医における女性の立場などの問題点を再確認しました。また女性歯科医師を続けていく上で「主人の協力」,「家族の協力」,「親の協力」といった身近で支えてもらえる重要性が多く記載されていました。家の中のサポート以外の,有効なサポートがあればより多くの女性会員が仕事に復帰できるとも考えられます。

(B)　同窓会のポジティブ・アクション

最近企業ではポジティブ・アクション（積極的改善措置；明らかに男女間の格差が認められる場合には,格差を改善するため必要な範囲内において,男女のいずれか一方に対し,活動に参画する機会を積極的に提供する）を自主的に行っている例も認められます。たとえば女性役員数を決める,女性相談室の設置,再教育再訓練の充実,女子学生・女子生徒に対しロールモデルを提示するよう

な機会を積極的につくるなどの女性チャレンジ支援策が行われています。このようなポジティブ・アクションの選択の是非についてもこれから検討が必要とされるでしょう。

優れた業績を上げた女性科学者に贈られる第23回猿橋賞が深見希代子東京薬科大学教授に今年贈られました。深見教授の言葉に「物事の優先順位をつける。子育てを優先するときはサポートしてもらう。一人ですべてを完全にはできない」とあります。この深見教授のように優れた仕事を行い，家庭を両立させるような歯科界の女性がロールモデルとして紹介，場合によっては表彰する方法も考えられます。

(c) 同窓会にとっての男女共同参画

歯科医師会での東京歯科大学同窓会支部会員の割合が少なくなっていくのを嘆く会員の声が同窓会報には寄せられています。女性会員を支部に迎えいれることがこれに少しでも答えることができる方法でもあります。特に最近の卒業生の女性の占める割合は40%近く（表4）まで上昇しており，男子卒業生数は最近3年間では70名から80名までになっています。会員数増加を目標とするならば男女共同参画は避けて通れないものとも考えられます。

女性が男性と同様の支部入会率を示した場合同窓会支部会員数はどのくらいになるのかを概算してみると次のようになります。同窓会の把握している支部会員数は6,336名，支部に属さない会員は2,114名の計8,450名です。またこの調査結果である支部女性会員の割合8.8%から支部会員のうち女性会員を推定すると558名となります。また昭和24年から平成15年の卒業生は，8,011人，うち女性は1,353人で女性会員の割合は16.9%です。女性支部会員558名は全女性会員1,353名の約4割と考えられます。支部会員数6,336名から推計558名の女性会員を引いた5,778名の男性会員が83.2%（女性会員が現在の8.8%から16.9%になれば）になるまで女性支部会員が増加するならば，女性支部会員数は約600名増加し約7,000名の支部会員数になると予測することができます。

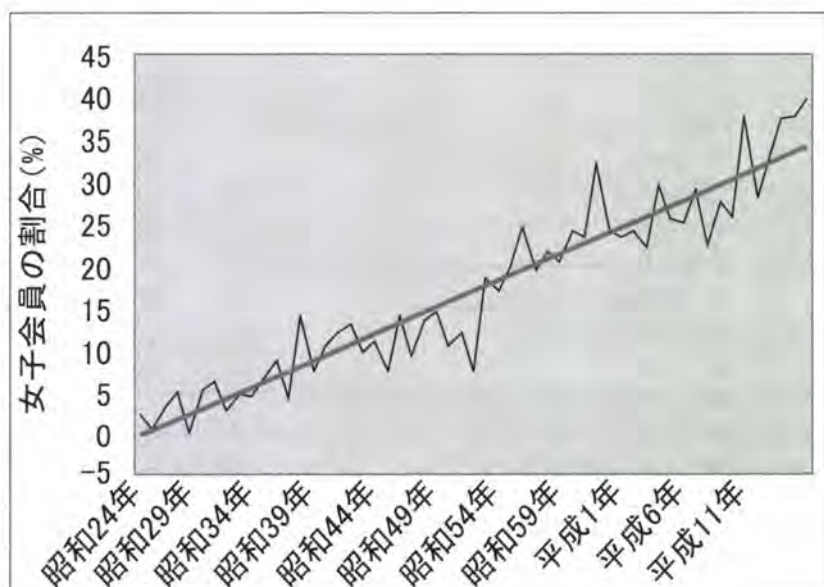
表4　最近5年間の卒業者に占める女子会員の割合

卒業年	会員数	女子会員数	女子会員の割合（%）
平成10年	128	48	37.5
平成11年	131	37	28.2
平成12年	140	46	32.8
平成13年	115	43	37.3
平成14年	128	48	37.5
平成15年	116	46	39.6

近年卒業生のうち女性会員の占める割合は年々増加の傾向にあります（グラフ3）。支部女性会員と支部に属さない女性会員の比率が現在の4：6がこれからも続き，そして男性会員の減少が継続した場合，支部会員数はかなり減少していくと考えられます。

ところで歯科医師飽和状況の中で新規開業を増やすことは容易ではないことも事実です。また会員自身の考え方の変革や，女性会員の積極的な取り組みがなければ歯科での男女共同参画社会は難しいものとなるでしょう。活力のある歯科界を創造するためには産みの苦しみが待っているのでしょうか？意欲と能力のある女性が活躍できる歯科界作り，同窓会作りは我々会員が考えていくべき問題です。

グラフ3　卒業時の女子会員の割合

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

（敬称略・届出順）

卒業 / 支部	氏名 / 〒	年齢 / 住所	病名	日付
●昭16卒	富樫 康	(83歳)	パーキンソン氏病	15. 9.24
豊島支部	〒171-0031	豊島区目白2-18-12		
●昭和20.9卒	村上保之	(79歳)	肝腫瘍	15.10. 6
長崎県支部	〒856-0831	大村市東本町590		
●昭33卒	市之川 武	(69歳)	虚血性心疾患の疑い	15.10.14
葛飾支部	〒125-0052	葛飾区柴又7-10-15		
●昭27卒	関口保彦	(74歳)	脳梗塞	15.10.15
静岡県支部	〒426-0087	藤枝市音羽町5-14-1　サンライフ音羽103		
●昭27卒	梶ヶ谷守兄	(72歳)	肺気腫	15. 9.28
川崎支部	〒211-0953	川崎市幸区下平間177		
●昭45卒	平野義和	(58歳)	突発性心不全	15.10.23
目黒支部	〒146-0085	大田区久が原2-4-19-103		
●昭8卒	松本松次	(92歳)	肺炎	15.10.23
板橋支部	〒175-0082	板橋区高島平1-48-3		
●昭29卒	本間正巳	(73歳)	心不全	15.10.22
渋谷支部	〒150-0021	渋谷区恵比寿西1-10-8		
●昭32卒	阿部 繁	(76歳)	急性心不全	15.10.24
新潟県支部	〒959-2022	新潟県北蒲原郡水原町外城町17-32		
●昭25卒	小林眞作	(77歳)	胃癌	15.10.17
兵庫県支部	〒261-0004	千葉市美浜区高洲3-5-4-806		
●昭27卒	岡 邦彦	(72歳)	肺癌	15.10.30
横浜南部支部	〒232-0031	横浜市南区永楽町2-23-2　ハーズ横浜ベイガーデン802		
●昭16.12卒	加藤敏行	(82歳)	肺炎	15.11. 1
石川県支部	〒920-0843	金沢市森山2-23-17		
●昭18.9卒	高田 真	(81歳)	肺炎	15.11. 4
茨城県支部	〒303-0023	水海道市宝町2762		
●昭24卒	千葉 穣	(74歳)	敗血症	15.11. 2
宮城県支部	〒982-0011	仙台市太白区長町1-12-1		
●昭25卒	鹿渡 茂	(74歳)	心筋梗塞	15.11. 5
石川県支部	〒925-0033	羽咋市川原町テ19-3		
●昭5卒	加藤一郎	(95歳)	脳挫傷	15.11.11
愛知県支部	〒440-0804	豊橋市呉服町42		
●昭16卒	深田英朗	(84歳)	前立腺癌	15. 8.24
北多摩支部	〒181-0013	三鷹市下連雀町8-4-1　ビバリーコート三鷹722		
●昭31卒	井上 執	(72歳)	腎臓癌	15.11.16
岡山県支部	〒714-0088	笠岡市中央町2-9		
●推鷹	畑中正文	(86歳)	腹部腫瘍	15.11.16
青森県支部	〒030-0903	青森市栄町2-9-13		
●昭43卒	佐藤正紀	(60歳)	脳内出血	15.11.25
新宿支部	〒160-0022	新宿区新宿7-26-19-601		
●昭17.9卒	杉田長男	(83歳)	萃臓癌	15.11.27
十勝支部	〒080-0801	帯広市東一条南10-1		
●昭14卒	渋谷 章	(86歳)	老衰	15.11.26
神奈川西湘支部	〒258-0003	神奈川県足柄上郡松田町松田惣領2049		
●昭25卒	松岡健一	(76歳)	肺癌	15.11.25
京橋支部	〒141-0022	品川区東五反田4-3-30-506		

渡辺和夫君を悼む　歯士会（昭和38年卒）

思い起こせば手先が器用で，学校では歯型彫刻，技工物作成等補綴実習では基本的ポイントをすぐ掴み，常にトップ級で先生の合格印をもらっていた。卒業後長野電鉄吉田駅前で開院され，持ち前の器用さと度量の大きさで患者さんの信頼を受け，見学に行くといつも大盛況でした。趣味も色々で囲碁，マージャン，ゴルフと何でもこなす多才ぶり，中でも石垣島でのスキューバダイビング，毎年5月の連休には家族で楽しんでいた。私も何度か誘われましたがご一緒出来なかったこと，無念に思います。また長野ロイヤル会に所属し，どの時間にあのような作品を描かれているのかと驚きでした。3年前にはギャラリーで個展を開き80余点を展示し，多勢の方が訪れてくださったと喜んでいました。日本歯科評論の表紙にも2回登用され，最初の作品は大地に根を張った巨木で，正に渡辺家を象徴するような重厚な感じが表現されておりました。県社保審査委員も永年勤め，学生時代は地味な存在でしたが県歯理事として，むしろ積極的な論客として活躍していました。家族にあってはお子様に恵まれ，二男四女で5人が歯科医の道に進まれ，近年は自己の健康を気遣いながら，悠々自適な生活をしていたが，薬石効なく黄泉へと旅立ってしまって。

ご冥福をお祈りします。　合掌

（松村雄郷 記）

庶　務　日　誌

11月

1）理事会

11月14日（金）　第5回理事会

2）委員会

11月10日（月）　情報委員会
　12日（水）　広報部委員会（会報編集）
　13日（木）　学術部委員会（学術情報研究委員会）
　18日（火）　学術部委員会（企画委員会）
　25日（火）　学術部委員会（研修会）

3）出　張

11月1日（土）　北陸地域支部連合会総会（福井県支部担当）　金子副会長，奥川理事出席
　学術講演会　講師・山根源之教授（母校）
　1日（土）　東京地域支部連合会総会
　天野会長，高橋理事出席
　9日（日）　三重県支部学術講演会
　講師・石原和幸助教授（母校）
　11日（火）　城東支部学術講演会
　講師・藤巻五朗氏（東京都開業）
　15日（土）　第50回全国歯科大学同窓・校友会懇話会
　安藤・天野各常任理事
　23日（日）　近畿地域支部連合会総会（大阪府支部担当）　天野会長，池田専務理事，高田理事出席
　学術講演会　講師・橋本正次助教授（母校）
　30日（日）　愛知県支部総会　天野会長出席
　学術講演会　講師・奥平紳一郎氏（愛知県開業）

4）事　業

11月8日（土）　卒後研修セミナー［卒研セミナー］
　9日（日）　卒後研修セミナー［卒研セミナー］
　15日（土）　平成15年度評議員会・定時総会

12月

1）理事会

12月20日（土）　第6回理事会

2）委員会

12月1日（月）　情報委員会
　5日（金）　広報部委員会（会報企画）
　6日（土）　保険対策委員会
　6日（土）　学術部委員会（全体委員会）
　10日（水）　ゴルフ委員会
　22日（月）　学術部委員会（企画委員会）

3）出　張

12月6日（土）　熊本県支部総会　天野会長出席
　学術講演会　講師・橋本正次助教授（母校）
　6日（土）　愛媛県支部学術講演会　講師・山口秀晴教授（母校）
　7日（日）　茨城県支部総会　安藤常任理事出席
　学術講演会　講師・川口　充教授（母校）
　7日（日）　静岡県支部総会　大友副会長出席
　学術講演会　講師・一戸達也教授（母校）
　7日（日）　神奈川県支部連合同窓会総会　鈴木副会長出席
　7日（日）　滋賀県支部総会
　学術講演会　講師・平井義人教授（母校）
　7日（日）　栃木県支部総会　渡辺常任理事出席
　7日（日）　千葉県支部総会　高原常任監事出席
　11日（木）　大学役員と父兄会役員との懇談会　天野会長出席
　13日（土）　山梨県支部総会　池田専務理事出席

◆投稿規定

(1) 原稿締切り

原稿の締切りは，奇数月の10日までとし，原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

(2) 投稿様式

投稿は原稿用紙に横書きとし，便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを，大きいサイズ（2Lなど）で，集合写真のみでなく，スナップなども添えて下さい。

(3) 投稿字数

① 「すいどうばし」欄（随想，詩，短歌，時評など）は，1編1,600字程度

② 「支部のうごき」「クラス会だより」は，本文のみの場合1,600字程度。写真が入る場合，3段抜き900字，2段抜き400字，1段抜き200字減らして下さい。

③ 「追悼」は，500字程度

(4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし，紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので，ご了承下さい。

なお,掲載については委員会にご一任いただきます。

(5) 写真等の返却

写真等は，原則として返却いたしませんが，特に貴重な写真などの場合は，その旨書き添えて下されば返送いたします。

◆へんしゅうこうき

★ 平成15年度の評議員会において，次年度会長に天野恵現会長が再選されました。5期目で，また部署も6部から8部（保険部・情報部の新設）に増設され，新しい理事が決定することと思います。

★ 本号の広報部アンケート結果報告をみてもわかるとおり，女性会員が年々増加し，その割合も増えております。

★ 昭和24年より平成15年の卒業生が8,011名でそのうち女性が1,353名で，女性比率が16.9%ですが，ここ5年間では758名中268名で35.4%と，その増加率はめざましいものがあります。また現在，在学生の男女割合も同程度かそれ以上と聞いております。当然このままの状態が続ければ，女性会員の割合が増えていくことは確実です。もしかして，同級生同志あるいは同窓同志で多くの方々が結婚した場合，2人分の会費を払うのが負担だという人が増えてくるかもしれません。そうしますと会費納入率が減ってきます。（納入率が減らないことを祈ります）。

★ 数の原理からいっても，そのうち当然会務を負担してもらうようになると思いますが，できるだけ早く多くの女性会員を理事か各種委員に取込むべきかと思います。同窓会活動を活発にするためにも，意欲のある方は誰か手を挙げてみませんか。

★ 今は昔の卒業アルバムも掲載されていない学年が大分少なくなってきました。まだ掲載されていない学年，特に昭和10年代の卒年の先生方の積極的な投稿をお待ちしております。

★ 11月9日の衆議院議員選挙では一応マニフェスト対決ということで，自民党が勝利を収めましたが，構造改革や景気回復はいつのことやら，ここにきて自衛隊のイラク派兵が大変問題となってきましたが，さてどうなることやら。

★ 我々業界も不景気，不景気といわれてから久しくなりますが，また来年度はさらに医療費を抑制すると政府はいっております。いつまで自民党に付いていってよいのやら。

★ 11月27日に日歯創立100周年記念祝賀会に行ってまいりました。天皇，皇后両陛下のご臨席を仰ぎ，厳かな会でしたが，警備の都合上多くの会員が参加できなかったのは残念です。

（大井基道）

平成15年12月20日 印刷
平成15年12月25日 発行
東京歯科大学同窓会会報 第337号
同窓会ホームページアドレス
http://www.tdc-alumni.jp

発行人 大井基道
編集人 小林伯男
東京歯科大学同窓会
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18
電話 (03) 5275-1761
FAX (03) 3264-4859
印刷所 一世印刷株式会社
〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22
電話 (03) 3952-5651（代）

平成15年度 評議員会・定時総会議案書

平成15年11月15日
於 如 水 会 館

平成15年度東京歯科大学同窓会評議員会
（午前10時00分～午後３時00分）

1．開　会　の　辞
1．点　　　　　呼
1．会　長　挨　拶
1．来　賓　挨　拶
1．議長，副議長選出
1．議事録署名人指名
1．黙　　　　　祷
1．報　　　　　告
⑴　平成15年度　会 務 報 告
⑵　平成15年度　会計現況報告
1．議　　　　　事
第１号議案　平成14年度　経常部収支決算
第２号議案　平成14年度　特別会計収支決算（同窓会基金，血脇記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金）
第３号議案　平成14年度　卒後研修セミナー，卒後研修セミナー積立金収支決算
第４号議案　平成14年度　財産目録（監　査　報　告）
第５号議案　財産（備品）廃棄処分
第６号議案　東京歯科大学同窓会会則一部改正
第７号議案　平成16年度　事業計画
第８号議案　平成16年度　入会金（現行本学出身の会員5,000円，推薦会員50,000円）
第９号議案　平成16年度　会費（現行18,000円）
第10号議案　平成16年度　経常部収支予算
第11号議案　平成16年度　共済負担金(現行4,000円)
第12号議案　平成16年度　特別会計収支予算（同窓会基金，血脇記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金）
第13号議案　平成16年度　卒後研修セミナー収支予算
第14号議案　平成16年度　卒後研修セミナー30周年記念事業予算
第15号議案　平成16年度　総合政策費積立金会計予算
第16号議案　役　員　改　選
1．協　　　　　議
1．叙勲，褒章受章者顕彰式
1．閉　会　の　辞

第109回東京歯科大学同窓会定時総会
（午後３時10分～午後３時50分）

1．開　会　の　辞
1．会　長　挨　拶
1．議長，副議長選出
1．議事録署名人指名
1．報　　　　　告
⑴　平成15年度　会 務 報 告
⑵　平成15年度　評 議 員 会 報 告
⑶　平成16年度　経常部，特別会計，卒後研修セミナー，卒後研修セミナー30周年記念事業，総合政策費積立金会計収支予算
1．議　　　　　事
第１号議案　平成14年度　経常部収支決算
第２号議案　平成14年度　特別会計収支決算（同窓会基金，血脇記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金）
第３号議案　平成14年度　卒後研修セミナー，卒後研修セミナー積立金収支決算
第４号議案　平成14年度　財　産　目　録（監　査　報　告）
第５号議案　財産（備品）廃棄処分
第６号議案　東京歯科大学同窓会会則一部改正
1．協　　　　　議
1．閉　会　の　辞

平成15年度東京歯科大学同窓会会務報告

（自　平成14年10月1日）
（至　平成15年9月30日）

1．現在会員数　9,094名

内

名誉会長　1名
名誉会員　36名
共済免除会員　567名
高齢会員　537名
不明会員　704名

2．会員の移動

新入会員　121名
（本年度卒業生　116名
他　5名）
逝去会員　106名
退会会員　3名

3．会　議

評議員会	1回
定時総会	1回
東歯関係日歯役員・代議員，都道府県歯会長と同窓会役員懇談会	2回
全国歯科大学同窓・校友会懇話会	2回
地域支部連合会主催学術講演会等	9回
学術講演会講師派遣	26回
理事会	5回
常任理事会	6回
監査会	1回
役員連絡会	5回
各種委員会	137回
卒後研修セミナー	6回

4．役員出張　59回（84名）

5．支部数　110支部

6．地域支部連合会数　11地域支部連合会

北海道地域，東北地域，関東地域，東京地域，信越地域，東海地域，北陸地域，近畿地域，中国地域，四国地域，九州地域

7．会務報告

平成14年

10月1日(火)　会則検討委員会
4日(金)　情報委員会
6日(日)　三重県支部学術講演会　講師・井出吉信教授（母校）
7日(月)　学術部委員会（プログラム委員会）
7日(月)　学術部委員会（運営委員会）
7日(月)　渉外部委員会（保険対策委員会）
11日(金)　広報部委員会（会報企画）
12日(土)　島根県支部総会　渡辺理事出席
学術講演会　講師・井出吉信教授(母校)
15日(火)　渉外部委員会（保険対策委員会）
15日(火)　学術部委員会（プログラム委員会）
16日(水)　学術部委員会（運営委員会）
16日(水)　千代田支部学術講演会　講師・奥田克爾教授（母校）
17日(木)　学術部委員会（28校学術連絡会・世話人会）
18日(金)　学術部委員会（学術情報研究委員会）
19日(土)　第5回理事会
19日(土)　九州地域支部連合会支部長会
鈴木副会長出席
19日(土)　九州地域支部連合会総会（佐賀県支部担当）　鈴木副会長，澤田理事出席
21日(月)　情報委員会
23日(水)　学術部委員会（プログラム委員会）
24日(木)　学術部委員会（プログラム委員会）
27日(日)　東歯祭後夜祭　池田専務理事出席
27日(日)　卒後研修セミナー〔卒研セミナー〕
28日(月)　学術部委員会（企画委員会）
31日(木)　学術部委員会（プログラム委員会）
31日(木)　学術部委員会（学術情報研究委員会）
31日(木)　神奈川県支部連合同窓会支部長懇談会
天野会長出席
11月2日(土)　北海道地域支部連合会第19回卒後研修会　講師・梅村長生氏（愛知三の丸病院歯科口腔外科部長）
2日(土)　東京地域支部連合会総会
天野会長，髙橋(哲)理事出席
2日(土)　本学教授と同窓会役員との懇談会
6日(水)　共済検討委員会
6日(水)　学術部委員会（プログラム委員会）
9日(土)　北多摩支部学術講演会　講師・花岡洋一講師（母校）
9日(土)　十勝支部学術講演会　講師・森永一喜講師（母校）
11日(月)　広報部委員会（会報編集）
12日(火)　役員連絡会

14日(木) 学術部委員会（学術情報研究委員会）
15日(金) 第6回理事会
16日(土) 東歯関係日歯役員・代議員，都道府県歯会長と同窓会役員との打合せ
16日(土) 平成14年度評議員会・第108回定時総会
16日(土) 第48回全国歯科大学同窓・校友会懇話会　坂井・梅村各理事出席
17日(日) 静岡県支部総会　大友副会長出席
学術講演会　講師・下野正基教授(母校)
18日(月) 学術部委員会（プログラム委員会）
20日(水) 学術部委員会（研修会）
23日(土) 近畿地域支部連合会総会（和歌山県支部担当）
天野会長，金子副会長，髙田理事出席
25日(月) 学術部委員会（企画委員会）
26日(火) 臨床研修医セミナーに関する打合せ
池田専務理事，渡辺・髙橋(義)・天野各理事出席
28日(木) 学術部委員会（学術情報研究委員会）
29日(金) 学術部委員会（プログラム委員会）
30日(土) 東信支部総会
学術講演会　講師・後藤忠正氏（千葉県開業）
30日(土) 愛媛県支部総会
学術講演会　講師・平井泰行氏（日歯常務理事）
30日(土) 山形県支部学術研修会　講師・槇石武美教授（母校）
12月1日(日) 神奈川県支部連合同窓会総会
池田専務理事出席
1日(日) 愛知県支部総会　天野会長出席
2日(月) 学術部委員会（プログラム委員会）
4日(水) 広報部委員会（会報企画）
6日(金) 学術部委員会（全体委員会）
7日(土) 熊本県支部総会　渡辺理事出席
学術講演会　講師・石上惠一教授(母校)
8日(日) 神奈川県支部連合同窓会学術講演会　講師・山根源之教授（母校）
8日(日) 茨城県支部総会　金子副会長出席
学術講演会　講師・山田　了教授(母校)
8日(日) 千葉県支部総会　天野会長出席
9日(月) 武蔵野支部学術講演会　講師・平井義人教授（母校）
9日(月) 学術部委員会（プログラム委員会）
10日(火) 学術部委員会（プログラム委員会）
13日(火) 学術部委員会（プログラム委員会）
13日(金) 父兄会役員と大学幹部との懇談会
天野会長出席
14日(土) 山梨県支部総会　池田専務理事出席
15日(日) 栃木県支部総会　池田専務理事出席
学術講演会　講師・平井泰行氏（日歯常務理事）
16日(月) 情報委員会
18日(水) 大学支部総会　奥田理事出席
18日(水) 第5回常任理事会
19日(木) 学術部委員会（学術情報研究委員会）
20日(金) 学術部委員会（企画委員会）
20日(金) 日本橋支部総会　天野会長出席
22日(日) 東京歯科大学蓼科寮お別れ会（東信支部主催）　池田専務理事出席
22日(日) 群馬県支部総会
天野会長，鈴木副会長出席
24日(火) 臨床研修医セミナーに関する打合せ
髙橋(義)理事出席
25日(水) 学術部委員会（プログラム委員会）
27日(金) 渉外部委員会（医政対策委員会）
平成15年
1月6日(月) 学術部委員会（運営委員会）
7日(火) 学術部委員会（運営委員会）
9日(木) 千代田支部新年会　大井理事出席
10日(金) 臨床研修医セミナーに関する打合せ
池田専務理事，渡辺・髙橋(義)・天野各理事出席
11日(土) 日本大学歯学部同窓会新年会
天野会長出席
11日(土) 学術部委員会（運営委員会）
12日(日) 東京医科歯科大学歯科同窓会新年名刺交換会　天野会長出席
14日(火) 学術部委員会（研修会）
14日(火) 広報部委員会（会報編集）
16日(木) 学術部委員会（運営委員会）
18日(土) 南信支部総会
学術講演会　講師・秋元善次助手(母校)
18日(土) 第1回理事会
18日(土) 渉外部委員会（医政対策委員会）
18日(土) 東京地域支部連合会新年交歓会
天野会長出席
19日(日) 広島県支部総会　池田専務理事出席
学術講演会　講師・梅村長生氏（愛知三の丸病院歯科口腔外科部長）

20日(月)　学術部委員会（企画委員会）
21日(火)　学術部委員会（運営委員会）
23日(木)　学術部委員会（学術情報研究委員会）
24日(金)　下谷・浅草支部合同新年会　大友副会長出席
25日(土)　杉並支部新年交歓会　増田理事出席
25日(土)　世田谷支部新年会　安藤理事出席
27日(月)　情報委員会
29日(水)　学術部委員会（運営委員会）
30日(木)　学術部委員会（プログラム委員会）
31日(金)　芝支部総会　天野会長出席
31日(金)　臨床研修医セミナーに関する打合せ　髙橋(義)理事出席
2月1日(土)　第12回全国歯科大学同窓・校友会学術担当者連絡会
3日(月)　学術部委員会（運営委員会）
7日(金)　学術部委員会（運営委員会）
9日(日)　埼玉県支部新年会　天野会長出席
12日(水)　臨床研修医セミナーに関する打合せ　池田専務理事，渡辺・髙橋(義)・天野各理事出席
13日(木)　広報部委員会（会報企画）
14日(金)　渉外部委員会（保険対策委員会）
15日(土)　北多摩支部総会　髙橋(哲)理事出席
16日(日)　三重県支部総会　寺本理事出席
17日(月)　学術部委員会（運営委員会）
18日(火)　学術部委員会（運営委員会）
19日(水)　第1回常任理事会
19日(水)　情報委員会
20日(木)　学術部委員会（学術情報研究委員会）
22日(土)　卒後研修セミナー〔臨床実技セミナー（講演・実習)〕
23日(日)　卒後研修セミナー〔臨床実技セミナー（実習)〕
24日(月)　学術部委員会（企画委員会）
28日(金)　東京歯科大学ワークショップ
3月3日(月)　学術部委員会（運営委員会）
5日(水)　学術部委員会（研修会）
7日(金)　学術部委員会（運営委員会）
10日(月)　学術部委員会（運営委員会）
12日(水)　東歯関係日歯役員・代議員，都道府県歯会長と同窓会役員との懇談会
13日(木)　広報部委員会（会報編集）
14日(金)　第53回東京歯科大学歯科衛生士専門学校卒業証書授与式
15日(土)　群馬県支部総会　天野会長，鈴木副会長出席
19日(水)　第2回常任理事会
20日(木)　学術部委員会（運営委員会）
20日(木)　保険対策委員会
24日(月)　新入会員オリエンテーション　安藤・髙橋(義)各理事出席
24日(月)　学術部委員会（企画委員会）
25日(火)　第108回東京歯科大学卒業証書授与式　天野会長列席
27日(木)　学術部委員会（プログラム委員会）
31日(月)　学術部委員会（運営委員会）
4月2日(水)　ゴルフ委員会
2日(水)　学術部委員会（学術情報研究委員会）
4日(金)　平成15年度東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学式　鈴木副会長列席
5日(土)　平成15年度東京歯科大学入学式　天野会長列席
6日(日)　卒後研修セミナー〔臨床実技セミナー（講演・実習)〕
10日(木)　学術部委員会（運営委員会）
11日(金)　広報部委員会（会報企画）
11日(金)　大学・同窓会・父兄会三者懇談会　池田専務理事，渡辺・髙橋(義)・天野各理事出席
12日(土)　宮城県支部総会　渡辺理事出席　学術講演会　講師・橋本正次講師(母校)
12日(土)　青森県支部総会　清藤副会長出席
14日(月)　学術部委員会（運営委員会）
16日(水)　第3回常任理事会
18日(金)　学術部委員会（運営委員会）
19日(土)　山形県支部総会　渡辺理事出席　学術講演会　講師・佐藤　亨教授(母校)
21日(月)　情報委員会
22日(火)　学術部委員会（プログラム委員会）
23日(水)　学術部委員会（運営委員会）
24日(木)　学術部委員会（運営委員会）
25日(金)　監　査　会　高原・大橋・野間各監事出席（立会人：天野会長，金子副会長，池田専務理事，渡辺・矢崎各理事）
25日(金)　松本歯科大学創立30周年記念式典　天野会長出席
26日(土)　第49回全国歯科大学同窓・校友会懇話会（日本歯科大学校友会担当）

池田専務理事，渡辺理事出席

28日(月)　学術部委員会（企画委員会）

5月1日(木)　臨床研修医セミナーに関する打合せ
池田専務理事，渡辺・髙橋(義)・天野各理事出席

6日(火)　保険対策委員会

7日(水)　学術部委員会（学術情報研究委員会）

12日(月)　広報部委員会（会報編集）

12日(月)　学術部委員会（研修会）

13日(火)　学術部委員会（運営委員会）

15日(木)　ゴルフ委員会

17日(土)　東京歯科大学蓼科寮閉寮式
小池理事出席

17日(土)　秋田県支部総会　髙橋(義)理事出席
学術講演会　講師・平井義人教授(母校)

17日(土)　四国地域支部連合会総会（高知県支部担当）
鈴木副会長，渡辺・久保田各理事出席
学術講演会　講師・井出吉信教授(母校)

17日(土)　第2回理事会

20日(火)　情報委員会

21日(水)　学術部委員会（研修会）

23日(金)　渋谷支部総会　増田理事出席

24日(土)　東北地域支部連合会総会（福島県支部担当）
天野会長，池田専務理事，鈴木理事出席
学術講演会　講師・ビッセン宮島弘子教授（母校）

24日(土)　卒後研修セミナー〔臨床実技セミナー(講演)〕

25日(日)　卒後研修セミナー〔臨床実技セミナー(実習)〕

26日(月)　学術部委員会（企画委員会）

27日(火)　学術部委員会（運営委員会）

29日(木)　学術部委員会（プログラム委員会）

6月1日(日)　神奈川県支部連合同窓会学術講演会　講師・金子　譲教授（母校）

2日(月)　学術部委員会（運営委員会）

4日(水)　六歯科大学・歯学部同窓・校友会懇談会
天野会長，梅田副会長，池田専務理事出席

5日(木)　学術部委員会（学術情報研究委員会）

11日(水)　広報部委員会（会報企画）

12日(木)　学術部委員会（運営委員会）

13日(金)　学術部委員会（プログラム委員会）

14日(土)　九州地域支部連合会支部長会（長崎県支部担当）　天野会長，澤田理事出席

14日(土)　川崎支部学術講演会　講師・佐藤　亨教授（母校）

17日(火)　臨床研修医セミナーに関する打合せ
池田専務理事，髙橋(義)・天野各理事出席

18日(水)　第4回常任理事会

19日(木)　臨床研修医セミナーに関する打合せ
渡辺・髙橋(義)・天野各理事出席

20日(金)　学術部委員会（運営委員会）

21日(土)　中国地域支部連合会総会（鳥取県支部担当）
天野会長，池田専務理事，田中理事出席
学術講演会　講師・井上　孝教授(母校)

23日(月)　学術部委員会（企画委員会）

27日(金)　保険対策委員会

28日(土)　新潟県支部総会　渡辺理事出席
学術講演会　講師・高橋雅典氏（獨協医科大学法医学教室助教授）

28日(土)　卒後研修セミナー〔臨床実技セミナー(講演)〕

29日(日)　卒後研修セミナー〔臨床実技セミナー(実習)〕

7月1日(火)　情報委員会

1日(火)　臨床研修医セミナーに関する打合せ

3日(木)　学術部委員会（研修会）

6日(日)　埼玉県支部総会　金子副会長出席
学術講演会　講師・井出吉信教授(母校)

10日(木)　東京地域支部連合会学術講演会　講師・高橋英登氏（東京都開業）

10日(木)　学術部委員会（学術情報研究委員会）

11日(金)　広報部委員会（会報編集）

12日(土)　岡山県支部学術講演会　講師・藥師寺仁教授（母校）

12日(土)　群馬県支部総会　池田専務理事出席
学術講演会　講師・見明康雄助教授（母校）

13日(日)　卒後研修セミナー〔臨床実技セミナー〕

14日(月)　役員連絡会

14日(月)　学術部委員会（運営委員会）

16日(水)　ゴルフ大会実行委員会

16日(水)　第5回常任理事会

17日(木)　学術部委員会（プログラム委員会）

18日(金)　練馬支部学術講演会　講師・青木　聡

講師（母校）

28日（月） 学術部委員会（企画委員会）

8月2日（土） 第14回全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会

3日（日） 第14回全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会

4日（月） 臨床研修医セミナーに関する打合せ

7日（木） 情報委員会

8日（金） 学術部委員会（プログラム委員会）

20日（水） 学術部委員会（運営委員会）

25日（月） 役員連絡会

25日（月） 広報部委員会（会報企画）

25日（月） 学術部委員会（企画委員会）

28日（木） 学術部委員会（学術情報研究委員会）

9月1日（月） 臨床研修医セミナーに関する打合せ

2日（火） 情報委員会

3日（水） 渉外部委員会（社会保険指導者情報交換会）

4日（木） 第32回同窓会主催全国ゴルフ大会

5日（金） 保険対策委員会

6日（土） 関東地域支部連合会総会（埼玉県支部担当） 梅田副会長，久保木理事出席
学術講演会 講師・平井泰行氏（日歯常務理事）

7日（日） 東海地域支部連合会総会（三重県支部担当） 天野会長，梅村・寺本各理事出席

9日（火） 学術部委員会（プログラム委員会）

10日（水） 東歯関係日歯役員・代議員，都道府県歯会長と同窓会役員との懇談会

11日（木） 広報部委員会（会報編集）

11日（木） 東京地域支部連合会学術関係者と同窓会学術部委員会委員との意見交換会

13日（土） 臨床研修医セミナー

13日（土） 学術部委員会（全体委員会）

14日（日） 北海道地域支部連合会総会（函館支部担当）
天野会長，鈴木副会長，黒須・藤森各理事出席
学術講演会 講師・井上 孝教授（母校）

20日（土） 第3回理事会

22日（月） 学術部委員会（企画委員会）

27日（土） 信越地域支部連合会総会（南信支部担当）
天野会長，池田専務理事，小池理事出席
学術講演会 講師・川口 充教授（母校）

平成14年10月１日より平成15年９月30日までに逝去された会員は次のとおりです。

（敬称略）

豊島	松本正一	葛飾	山本厚	横浜北部	加藤木親郎	京都	足立笑吾
京都	橋田雅人	兵庫	藤井沖正	富山	柚木一夫	秋田	高橋是崇
豊島	青柳善郎	愛知	木全哲夫	苫小牧	村上慧	麻布赤坂	青木勇三
和歌山	坂東匡男	大阪	鈴木三郎	愛知	山中弘三郎	静岡	神田秀彦
千葉	阿左見工	熊本	宮田富美雄	福島	目黒敏一郎	中野	今井龍二
新潟	小林茂	京橋	田中成幸	千葉	増田喜久次郎	愛知	池田文雄
長崎	山口正義	青森	清藤勝郎	千葉	木屋和雄	山梨	深沢亮
千葉	杉山英世	北多摩	山川雅義	兵庫	田村武夫	北多摩	梶山登
群馬	恩田重雄	豊島	上山悦郎	世田谷	井上雅博	横須賀・鎌倉	神翁正
札幌	梶登良男	愛知	更家卓	小石川	河江力男	山口	井関清栄
福岡	北正朋	板橋	中村淳	世田谷	田嶋尚嗣	練馬	佐藤俊郎
南信	三宅俊造	横浜北部	團順一	兵庫	種田貞弘	宮城	高見沢録朗
北見	小柳宗一	豊島	鈴木彊	愛知	平野裕	大森	千葉重博
埼玉	肥塚行蔵	大阪	木村勝彦	杉並	山本四郎	福井	宇野正一
横浜中央	武内隆一	札幌	山口進	牛込	坂本清澄	渋谷	佐藤貞勝
日本橋	松平邦夫	千葉	平野卓	兵庫	喜多見正二	日本橋	小川洋
新宿	上野隆司	旭川	千葉久雄	千葉	松本隆	山形	清野正彦
川崎	佐藤裕	新潟	星隆司	小石川	大串勉	八南	松本宣洞
青森	小川武正	滋賀	上野一久	埼玉	中野進	深川	春日一彦
栃木	小川いずみ	福岡	富川昌子	千葉	渡辺脩司	長崎	野本勝美
十勝	野口猛	江戸川	中島耕三	大森	難波徹男	千葉	坂本英次
山梨	山崎嗣男	山梨	三井恒雄	鹿児島	荒木照夫	丸の内	渡辺皓司
目黒	佐藤新一	静岡	鈴木秋雄	広島	森文雄	川崎	太尾政雄
静岡	足立益雄	千葉	三浦隆一	杉並	櫻井和人	新宿	熊倉正次
千葉	麻薙光雄	佐賀	副島良一	兵庫	辻浩一	札幌	立石宏行
埼玉	鈴木和男	静岡	榎本要二	神奈川湘南	中井俊次	佐賀	佐野義彦
向島	木村哲男	北信	渡辺和夫				

（届出順　以上 106名）

平成15年度東京歯科大学同窓会厚生部報告

（自 平成14年10月１日　至 平成15年９月30日）

1．火災，災害による罹災会員に共済規程第６条第１項二号に基づき罹災共済金（見舞金）を贈呈した会員は次のとおりです。

福 岡 県　支部　　花村　信明氏（昭 63 卒）　集中豪雨により診療所浸水
平成15年７月30日贈呈

宮 城 県　支部　　鈴木　　篤氏（昭 52 卒）　地震により住宅兼診療所被害
平成15年８月５日贈呈

宮 城 県　支部　　赤間　　力氏（昭 43 卒）　地震により住宅兼診療所被害
平成15年８月５日贈呈

宮 城 県　支部　　太宰　三男氏（昭 60 卒）　地震により住宅兼診療所被害
平成15年８月18日贈呈

以上　４名

2．共済規程第6条第1項一号に基づき弔慰金を贈呈した逝去会員は次のとおりです。

（敬称略）

南信	牛木 実	千葉	大内英男	札幌	山口三郎	荏原	青柳文雄
札幌	山田幸宏	豊島	松本正一	葛飾	山本 厚	横浜北部	加藤木親郎
京都	足立笑吾	京都	橋田雅人	兵庫	藤井沖正	富山	柚木一夫
秋田	高橋是崇	豊島	青柳善郎	愛知	木全哲夫	苫小牧	村上 慧
麻布赤坂	青木勇三	和歌山	坂東匡男	大阪	鈴木三郎	愛知	山中弘三郎
静岡	神田秀彦	千葉	阿左見 工	熊本	宮田富美雄	福島	目黒敞一郎
中野	今井龍二	新潟	小林 茂	京橋	田中成幸	千葉	増田喜久次郎
愛知	池田文雄	長崎	山口正義	青森	清藤勝郎	千葉	木屋和雄
山梨	深沢 亮	千葉	杉山英世	北多摩	山川雅義	兵庫	田村武夫
群馬	恩田重雄	豊島	上山悦郎	横須賀·鎌倉	神翁 正	札幌	梶 登良男
愛知	更家 卓	小石川	河江力男	山口	井関清栄	福岡	北 正朋
板橋	中村 淳	世田谷	田嶋尚嗣	南信	三宅俊造	横浜北部	團 順一
兵庫	種田貞弘	宮城	髙見沢録朗	北見	小柳宗一	豊島	鈴木 彊
愛知	平野 裕	大森	千葉重博	埼玉	肥塚行蔵	大阪	木村勝彦
杉並	山本四郎	福井	宇野正一	横浜中央	武内隆一	札幌	山口 進
牛込	坂本清澄	渋谷	佐藤貞勝	日本橋	松平邦夫	千葉	平野 卓
兵庫	喜多見正二	日本橋	小川 洋	新宿	上野隆司	旭川	千葉久雄
千葉	松本 隆	山形	清野正彦	川崎	佐藤 裕	新潟	星 隆司
小石川	大串 勉	八南	松本宣洞	青森	小川武正	滋賀	上野一久
埼玉	中野 進	深川	春日一彦	栃木	小川いずみ	福岡	富川昌子
千葉	渡辺脩司	長崎	野本勝美	十勝	野口 猛	江戸川	中島耕三
大森	難波徹男	千葉	坂本英次	山梨	山崎嗣男	山梨	三井恒雄
丸の内	渡辺皓司	目黒	佐藤新一	静岡	鈴木秋雄	川崎	太尾政雄
静岡	足立益雄	千葉	三浦隆一	杉並	櫻井和人	新宿	熊倉正次
千葉	麻薙光雄	佐賀	副島良一	兵庫	辻 浩一	札幌	立石宏行
埼玉	鈴木和男	静岡	榎本要二	神奈川湘南	中井俊次	佐賀	佐野義彦

（届出順　以上 104名）

第1号議案

平成14年度　東京歯科大学同窓会

経常部収支決算書

（自　平成14年1月1日
至　平成14年12月31日）

（収入の部）　　　　△印＝予算額に比較し増額の場合

科目	予算額	決算額	差額	対比	摘要
	円	円	円	%	
会費	114,000,000	99,420,600	14,579,400	87.2	昭和40～42年度　1,200円×　3人 昭和43～47年度　1,700円×　7人 昭和48年度　3,200円×　3人 昭和49年度　3,500円×　3人 昭和50年度　6,000円×　3人 昭和51年度　7,000円×　3人 昭和52年度　8,000円×　6人 昭和53年度　8,000円×　6人 昭和54年度　8,000円×　6人 昭和55年度　10,000円×　6人 昭和56年度　10,000円×　6人 昭和57年度　10,000円×　6人 昭和58年度　12,000円×　7人 昭和59年度　12,000円×　6人 昭和60年度　12,000円×　6人 昭和61年度　12,000円×　6人 昭和62年度　12,000円×　7人 昭和63年度　14,000円×　7人 平成元年度　14,000円×　7人 平成2年度　14,000円×　9人 平成3年度　14,000円×　8人 平成4年度　14,000円×　10人 平成5年度　14,000円×　14人 平成6年度　14,000円×　21人 平成7年度　14,000円×　20人 平成8年度　14,000円×　26人 平成9年度　14,000円×　30人 平成10年度　14,000円×　71人 平成11年度　20,000円×　66人 平成11年度　6,000円×　122人 平成12年度　20,000円×　96人 平成13年度　20,000円×　781人 平成14年度　18,000円×4,218人 過年度分（平成12年度以前分） 597人　7,876,600 過年度分（平成13年度分） 781人　15,620,000 当年度分（平成14年度分） 4,218人　75,924,000 合計　5,596人　99,420,600
入会金	740,000	758,000	△18,000	102.4	新卒者　128人×　5,000＝640,000 推薦会員　2人×50,000＝100,000 3人×　5,000＝　15,000 1人×　3,000＝　3,000
雑収入	2,110,000	1,973,238	136,762	93.5	
前年度繰越金	18,560,000	35,518,936	△16,958,936	191.4	東京三菱銀行普通　8,418,920 東京三菱銀行定期　25,500,000 三崎町郵便局普通　1,600,016
合計	135,410,000	137,670,774	△ 2,260,774	101.7	

（支出の部）

科目	予算額	決算額	差額	対比	摘要
	円	円	円	%	
事務費	45,280,000	42,830,588	2,449,412	94.6	
給与費	32,670,000	31,445,300	1,224,700	96.3	事務職員5名
福利厚生費	330,000	207,000	123,000	62.7	会務遂行中の役員等の障害保険料を含む
通信費	1,900,000	1,695,890	204,110	89.3	
印刷費	1,900,000	1,663,736	236,264	87.6	試験問題集（当年分）作成料を含む
備品購入費	1,000,000	980,616	19,384	98.1	
消耗品費	400,000	494,910	△ 94,910	123.7	
集金手数料	5,130,000	4,355,400	774,600	84.9	
保守管理委託費	1,350,000	1,456,350	△ 106,350	107.9	
雑費	600,000	531,386	68,614	88.6	
事業費	76,730,000	71,964,177	4,765,823	93.8	
旅費交通費	23,040,000	24,027,046	△ 987,046	104.3	
総務関係費	1,870,000	895,277	974,723	47.9	情報ネットワーク費用他
広報関係費	21,010,000	16,176,536	4,833,464	77.0	会報年間6回発行
渉外費	8,970,000	12,947,826	△ 3,977,826	144.3	
学術研修費	10,470,000	9,078,597	1,391,403	86.7	
会合費	1,160,000	1,568,510	△ 408,510	135.2	各種委員会
交際費	7,230,000	4,660,781	2,569,219	64.5	
慶弔費	2,210,000	1,721,775	488,225	77.9	
雑費	770,000	887,829	△ 117,829	115.3	
会議費	3,810,000	3,138,482	671,518	82.4	
役員会費	240,000	298,178	△ 58,178	124.2	理事会6回・常任理事会5回
評議員会・総会費	3,370,000	2,719,132	650,868	80.7	平成14年11月16日開催
支部長会費	100,000	0	100,000	0.0	
雑費	100,000	121,172	△ 21,172	121.2	
特別会計繰入金	4,840,000	4,858,000	△ 18,000	100.4	
同窓会基金	740,000	758,000	△ 18,000	102.4	
血脇記念基金	100,000	100,000	0	100.0	
名簿積立金	3,000,000	3,000,000	0	100.0	
退職積立金	1,000,000	1,000,000	0	100.0	
予備費	4,750,000	0	4,750,000	0.0	
支出計	135,410,000	122,791,247	12,618,753	90.7	
次年度繰越金	—	14,879,527	△14,879,527	0.0	東京三菱銀行普通 7,845,516 東京三菱銀行定期 2,000,000 三崎町郵便局普通 5,033,171 郵便振替残高 840
合計	135,410,000	137,670,774	△ 2,260,774	101.7	

第2号議案

平成14年度　東京歯科大学同窓会

同窓会基金収支決算書

（自　平成14年1月1日
至　平成14年12月31日）

（収入の部）

△印＝予算額に比較し増額の場合

科　　目	予算額	決算額	差　額	対比	摘　要
	円	円	円	%	
繰入金	740,000	758,000	△　18,000	102.4	経常部より繰入
雑収入	30,000	6,814	23,186	22.7	利息　3,409　収益配当金　3,405
前年度繰越金	21,520,000	21,521,807	△　1,807	100.0	東京三菱銀行普通 40,112 東京三菱銀行定期 9,304,800 安田信託銀行貸付信託 12,150,000 安田信託銀行金銭信託 26,895
合　　計	22,290,000	22,286,621	3,379	100.0	

（支出の部）

科　　目	予算額	決算額	差　額	対比	摘　要
	円	円	円	%	
次年度繰越金	22,290,000	22,286,621	3,379	100.0	東京三菱銀行普通 106,309 東京三菱銀行定期 10,000,000 みずほアセット信託銀行貸付信託 12,150,000 みずほアセット信託銀行金銭信託 30,312
合　　計	22,290,000	22,286,621	3,379	100.0	

平成14年度　東京歯科大学同窓会

血脇記念基金収支決算書

（自　平成14年1月1日
至　平成14年12月31日）

（収入の部）

△印＝予算額に比較し増額の場合

科　　目	予算額	決算額	差　額	対比	摘　要
	円	円	円	%	
繰入金	100,000	100,000	0	100.0	経常部より繰入
雑収入	10,000	938	9,062	9.4	利息　938
前年度繰越金	3,000,000	2,994,357	5,643	99.8	東京三菱銀行普通 94,357 東京三菱銀行定期 2,900,000
合　　計	3,110,000	3,095,295	14,705	99.5	

（支出の部）

科　　目	予算額	決算額	差　額	対比	摘　要
	円	円	円	%	
次年度繰越金	3,110,000	3,095,295	14,705	99.5	東京三菱銀行普通 95,295 東京三菱銀行定期 3,000,000
合　　計	3,110,000	3,095,295	14,705	99.5	

平成14年度　東京歯科大学同窓会

共済基金収支決算書

（自　平成14年１月１日　至　平成14年12月31日）

（収入の部）

△印＝予算額に比較し増額の場合

科目	予算額	決算額	差額	対比	摘要
	円	円	円	%	
共済負担金	28,550,000	23,674,400	4,875,600	82.9	昭和40年度～42年度　300円×　3人 昭和43年度～48年度　800円×　10人 昭和49年度～51年度　1,500円×　9人 昭和52年度～53年度　2,000円×　12人 昭和54年度～55年度　3,000円×　12人 昭和56年度～平成9年度　4,000円×　209人 平成10年度　4,000円×　76人 平成11年度　4,000円×　70人 平成12年度　4,000円×　99人 平成13年度　4,000円×　852人 平成14年度　4,000円×4,592人 計　5,944人 過年度分(平成12年度以前分)（　500人）1,898,400 過年度分(平成13年度分)（　852人）3,408,000 当年度分(平成14年度分)(4,592人) 18,368,000 計　(5,944人) 23,674,400
雑収入	200,000	38,731	161,269	19.4	利息
前年度繰越金	121,710,000	123,212,098	△ 1,502,098	101.2	東京三菱銀行普通　7,555,735 安田信託銀行貸付信託　3,450,000 東京三菱銀行定期　112,000,000 安田信託銀行金銭信託　206,363
合計	150,460,000	146,925,229	3,534,771	97.7	

（支出の部）

科目	予算額	決算額	差額	対比	摘要
	円	円	円	%	
共済金	28,000,000	21,470,000	6,530,000	76.7	弔慰共済金　21,200,000 (@200,000×106件) 罹災共済金　270,000 住宅火災　1件　70,000 住宅火災全焼　1件　200,000
事務費	180,000	139,500	40,500	77.5	弔意共済金・罹災共済金送料等
予備費	6,000,000	0	6,000,000	0.0	
給付準備金	116,280,000	0	116,280,000	0.0	
次年度繰越金	—	125,315,729	△ 125,315,729	0.0	東京三菱銀行普通　11,658,406 みずほアセット信託銀行貸付信託3,450,000 東京三菱銀行定期　110,000,000 みずほアセット信託銀行金銭信託207,323
合計	150,460,000	146,925,229	3,534,771	97.7	

平成14年度　東京歯科大学同窓会

名簿積立金収支決算書

（自　平成14年１月１日
至　平成14年12月31日）

（収入の部）　　　　△印＝予算額に比較し増額の場合

科目	予算額	決算額	差額	対比	摘要
	円	円	円	%	
繰入金	3,000,000	3,000,000	0	100.0	経常部より繰入
雑収入	10,000	3,909	6,091	39.1	利息　3,909
前年度繰越金	12,230,000	12,235,064	△　5,064	100.0	東京三菱銀行普通　35,064 東京三菱銀行定期　12,200,000
合計	15,240,000	15,238,973	1,027	100.0	

（支出の部）

科目	予算額	決算額	差額	対比	摘要
	円	円	円	%	
次年度繰越金	15,240,000	15,238,973	1,027	100.0	東京三菱銀行普通　38,973 東京三菱銀行定期　15,200,000
合計	15,240,000	15,238,973	1,027	100.0	

平成14年度　東京歯科大学同窓会

退職積立金収支決算書

（自　平成14年１月１日
至　平成14年12月31日）

（収入の部）　　　　△印＝予算額に比較し増額の場合

科目	予算額	決算額	差額	対比	摘要
	円	円	円	%	
繰入金	1,000,000	1,000,000	0	100.0	経常部より繰入
雑収入	20,000	5,777	14,223	28.9	利息　5,777
前年度繰越金	18,140,000	18,154,486	△　14,486	100.1	東京三菱銀行普通　154,486 東京三菱銀行定期　18,000,000
合計	19,160,000	19,160,263	△　263	100.0	

（支出の部）

科目	予算額	決算額	差額	対比	摘要
	円	円	円	%	
次年度繰越金	19,160,000	19,160,263	△　263	100.0	東京三菱銀行普通　160,263 東京三菱銀行定期　19,000,000
合計	19,160,000	19,160,263	△　263	100.0	

第３号議案

平成14年度　東京歯科大学同窓会

卒後研修セミナー収支決算書

（自　平成14年１月１日
至　平成14年12月31日）

（収入の部）　　　　△印＝予算額に比較し増額の場合

科　　目	予 算 額	決 算 額	差　　額	対比	摘　　要
	円	円	円	%	
受　講　料	7,980,000	7,727,000	253,000	96.8	１．臨床実技セミナー ①〔受講割引なし〕 「フラップオペレーションの実技」 一般 15,000×５人 75,000(１日間) 一般 60,000×19人 1,140,000(２日間) 「MTMの実際」 一般 70,000×31人 2,170,000(２日間) ②〔受講割引あり〕 「フラップオペレーションの実技」 一般 13,000×６人 78,000(１日間) 一般 58,000×26人 1,508,000(２日間) 「MTMの実際」 一般 68,000×25人 1,700,000(２日間) ①＋② 計 6,671,000 ２．ベーシックセミナー ①〔受講割引なし〕 「治療方針に悩んだら Ⅰ」 一般 15,000×13人 195,000(１日間) スタッフ 10,000×０人 0(１日間) 「治療方針に悩んだら Ⅱ」 一般 15,000×10人 150,000(１日間) スタッフ 10,000×１人 10,000(１日間) ②〔受講割引あり〕 「治療方針に悩んだら Ⅰ」 一般 13,000×19人 247,000(１日間) スタッフ 8,000×３人 24,000(１日間) 「治療方針に悩んだら Ⅱ」 一般 13,000×20人 260,000(１日間) スタッフ 8,000×１人 8,000(１日間) ①＋② 計 894,000 ３．卒研セミナー ①〔受講割引なし〕 「臨床現場での悩み」 一般 6,000×11人 66,000 ②〔受講割引あり〕 「臨床現場での悩み」 一般 4,000×24人 96,000 ①＋② 計 162,000 合　計 7,727,000
雑　収　入	20,000	119,290	△　99,290	596.5	平成13年度分郵便料金受取人後納担保金還付 118,300 利息 990
前年度繰越金	1,700,000	7,557,846	△ 5,857,846	444.6	東京三菱銀行普通 4,557,306 東京三菱銀行定期 3,000,000 郵便振替残高 540
合　　計	9,700,000	15,404,136	△ 5,704,136	158.8	

(支出の部)

科　　目	予 算 額	決 算 額	差　　額	対比	摘　　要
	円	円	円	%	
事　業　費	8,540,000	7,741,424	798,576	90.6	
講師謝礼費	1,640,000	2,134,650	△ 494,650	130.2	ベーシックセミナー・臨床実技セミナー等講師謝礼
資料作成費	420,000	502,950	△ 82,950	119.8	
実習器材費	1,370,000	1,021,780	348,220	74.6	フォイエルエッジブラケット他購入
役　務　費	400,000	469,000	△ 69,000	117.3	
設　営　費	1,260,000	993,501	266,499	78.8	
旅費交通費	0	240,000	△ 240,000	—	講師旅費
印刷広報費	700,000	546,271	153,729	78.0	
受講証関係費	80,000	4,522	75,478	5.7	
広　告　費	1,900,000	1,548,750	351,250	81.5	雑誌広告(歯界展望，日本歯科評論他)
渉　外　費	770,000	280,000	490,000	36.4	
事　務　費	970,000	311,835	658,165	32.1	
通信運搬費	900,000	311,520	588,480	34.6	プログラム発送料等
消耗品費	30,000	0	30,000	0.0	
雑　　費	40,000	315	39,685	0.8	
予　備　費	190,000	0	190,000	0.0	
小　　計	9,700,000	8,053,259	1,646,741	83.0	
次年度繰越金	—	7,350,877	△ 7,350,877	0.0	東京三菱銀行普通 7,350,316 東京三菱銀行普通 21 郵便振替残高 540
合　　計	9,700,000	15,404,136	△ 5,704,136	158.8	

平成14年度　東京歯科大学同窓会

卒後研修セミナー積立金収支決算書

(自　平成14年1月1日
至　平成14年12月31日)

(収入の部)　　△印＝予算額に比較し増額の場合

科　　目	予 算 額	決 算 額	差　　額	対比	摘　　要
	円	円	円	%	
前年度繰越金	23,747,540	23,747,540	0	100.0	安田信託銀行普通預金 127,540 安田信託銀行定期預金 23,620,000 ①11,620,000 (満期日14. 2.26) ②12,000,000 (満期日14.12.18)
雑　収　入	0	23,303	△ 23,303	0.0	安田信託銀行普通預金　利息 871 安田信託銀行定期預金　利息 22,432
合　　計	23,747,540	23,770,843	△ 23,303	100.1	

(支出の部)

科　　目	予 算 額	決 算 額	差　　額	対比	摘　　要
	円	円	円	%	
次年度繰越金	23,747,540	23,770,843	△23,303	100.1	みずほアセット信託銀行普通預金 770,843 みずほアセット信託銀行定期預金 23,000,000 ① 3,000,000 (満期日15. 1.18) ②10,000,000 (満期日15.12.18) ③10,000,000 (満期日15.12.18)
合　　計	23,747,540	23,770,843	△ 23,303	100.1	

第４号議案

平成14年度　東京歯科大学同窓会
財　産　目　録

平成14年12月31日

1．備　　品

機　器　備　品

品	目	数量	購入年月	購入価格	備　考
1	宛名印刷機	1台	S51．8	485,000	
2	応接用テーブル	1脚	H 3.12	137,000	
3	パーソナルコンピューター	1台	H 6.12	859,020	MAC
4	収納戸棚	3基	H 9.10	370,650	
5	パーソナルコンピューター	6台	H 9.12	5,602,275	WIN
6	宛名印刷機	1台	H 9.12	1,748,250	
7	書類保管庫	3基	H13．4	370,482	@114,744，@8,750
8	パーソナルコンピューター	1台	H14．8	180,390	MAC
9	パーソナルコンピューター	1台	H14．8	195,720	WIN
10	パーソナルコンピューター	1台	H14．8	150,360	WIN
11	プロジェクター	1台	H14．8	338,100	
計　11　品　目				10,437,247	

電　話　加　入　権

品	目	数量	購入年月	購入価格	備　考
1	電話加入権	2回線	H 2．3	149,968	@74,984

消　耗　備　品　費

品	目	数　量	購入価格	備　考
1	冷蔵庫 他	51点	2,659,381	

2．定期預金，普通預金，貸付信託，金銭信託

会計区分	種類	預金現在高	取引銀行
(1) 経常部	定期預金	0	東京三菱銀行　神保町支店
	〃	2,000,000	〃　〃
	普通預金	7,752,972	〃　〃
	〃	92,544	〃　〃
	通常貯金	5,033,171	三崎町郵便局
	郵便振替残高	840	東京地方郵便局
小計		14,879,527	
(2) 同窓会基金	定期預金	10,000,000	東京三菱銀行　神保町支店
	普通預金	106,309	〃　〃
	貸付信託	12,150,000	みずほアセット信託銀行 本店
	金銭信託	30,312	〃　〃
小計		22,286,621	
(3) 血脇記念基金	定期預金	3,000,000	東京三菱銀行　神保町支店
	普通預金	95,295	〃　〃
小計		3,095,295	
(4) 共済基金	定期預金	110,000,000	東京三菱銀行　神保町支店
	普通預金	11,658,406	〃　〃
	貸付信託	3,450,000	みずほアセット信託銀行 本店
	金銭信託	207,323	〃　〃
小計		125,315,729	
(5) 名簿積立金	定期預金	15,200,000	東京三菱銀行　神保町支店
	普通預金	38,973	〃　〃
小計		15,238,973	
(6) 退職積立金	定期預金	19,000,000	東京三菱銀行　神保町支店
	普通預金	160,263	〃　〃
小計		19,160,263	
(7) 卒後研修セミナー	定期預金	0	東京三菱銀行　神保町支店
	普通預金	7,350,316	〃　〃
受講料受取口	〃	21	〃　〃
	郵便振替残高	540	東京地方郵便局
小計		7,350,877	
(8) 卒後研修セミナー積立金	定期預金	23,000,000	みずほアセット信託銀行 本店
	普通預金	770,843	〃　〃
小計		23,770,843	
合計		231,098,128	

監　査　報　告

平成14年度東京歯科大学同窓会経常部収支決算書，特別会計収支決算書（即ち，同窓会基金決算，血脇記念基金決算，共済基金決算，名簿積立金決算，退職積立金決算），卒後研修セミナー，卒後研修セミナー積立金，及び財産目録につき諸帳簿，証憑書類を監査した結果適正に処理されていることを認めます。

平成15年４月25日

常任監事　高 原 映 忠 ㊞
監　　事　大 橋 和 夫 ㊞
監　　事　野 間 弘 康 ㊞

第５号議案　財産（備品）廃棄処分目録

１．宛名印刷機　　１台
　昭和51年８月に購入し26年を経過，老朽化し部品がなく使用不能のため。

２．応接用テーブル　１脚
　平成３年12月に購入，テーブルの脚止めが破損し，ぐらついて使用に耐えないため。

第６号議案　東京歯科大学同窓会会則一部改正（案）

第7号議案　平成16年度事業計画（案）

総　務　部

1．諸会合の準備と調整並びに運営を行う。

2．会員の入退会の迅速なる確認を行い，かつ会員現況の把握並びに名簿の補充完備を図る。

3．母校，父兄会，学生との連携を図る。

4．会則等の見直しを行う。

渉　外　部

1．各歯科大学同窓会，校友会との交流を図り，緊密なる友好を深める。

2．会員の歯科医政関係者との緊密な連携を保ち医政の推進を図る。

3．母校との連携のもとに国，公，私的機関等と協力し，人材の確保，育成に努める。

学　術　部

1．TDC 卒後研修セミナーを開催する。

2．地域支部連合会，支部における講演会，研修活動を助成する。

3．各大学の同窓会学術担当者との情報交換を行う。

4．学術情報の収集，分析および提供を図る。

5．母校臨床研修医制度の充実に協力する。

6．TDC 卒後研修セミナー30周年記念事業を企画する。

広　報　部

1．会報を年6回発行し，会員との情報交換を図る。

2．会員名簿を発行する。

厚　生　部

1．共済制度の健全なる運営を行う。

2．共済制度の総合的な見直しを行う。

3．会員厚生事業の充実を図る。

保　険　部

1．医療保険制度の調査，研究に関すること。

2．医療保険情報の提供に関すること。

3．医療保険関係者の交流に関すること。

情　報　部

1．母校，支部，クラス会等の情報を収集し，会員に伝達する。

2．ホームページの維持管理を行う。

3．会員名簿および会費管理に協力する。

4．同窓会事務 OA 化の環境整備を行う。

第8号議案　平成16年度入会金について（案）

平成16年度　入会金現行通り本学出身の会員5,000円，推薦会員50,000円

第9号議案　平成16年度会費について（案）

平成16年度　会費現行通り　18,000円

第10号議案

平成16年度　東京歯科大学同窓会

経常部収支予算（案）

（自　平成16年1月1日）
（至　平成16年12月31日）

（収入の部）　△印＝前年度予算額に比較し増額の場合

科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	前年度との比較	対比	摘要
	円	円	円	%	
会費	115,660,000	107,900,000	7,760,000	93.3	過年度分（平成14年度以前分） 750人 3,500,000 過年度分（平成15年度分） 800人 14,400,000 当年度分（平成16年度分） 5,000人 90,000,000 合計 6,550人 107,900,000
入会金	740,000	740,000	0	100.0	新卒者 5,000円×128人 その他 50,000円× 2人
雑収入	2,110,000	2,110,000	0	100.0	利息，その他
前年度繰越金	25,500,000	19,770,000	5,730,000	77.5	
合計	144,010,000	130,520,000	13,490,000	90.6	

（支出の部）

科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	前年度との比較	対比	摘要
事務費	円 45,060,000	円 44,480,000	円 580,000	% 98.7	
給与費	32,540,000	32,610,000	△ 70,000	100.2	事務職員5名
福利厚生費	310,000	270,000	40,000	87.1	会務遂行中の役員等の傷害保険料等
通信費	2,000,000	2,090,000	△ 90,000	104.5	
印刷費	1,700,000	1,700,000	0	100.0	試験問題集作成費等
備品購入費	700,000	500,000	200,000	71.4	
消耗品費	390,000	390,000	0	100.0	
集金手数料	5,210,000	4,860,000	350,000	93.3	
保守管理委託費	1,610,000	1,510,000	100,000	93.8	
雑費	600,000	550,000	50,000	91.7	
事業費	86,300,000	74,400,000	11,900,000	86.2	
旅費交通費	31,080,000	29,430,000	1,650,000	94.7	
総務関係費	6,200,000	4,950,000	1,250,000	79.8	
広報関係費	19,910,000	15,010,000	4,900,000	75.4	会報年間6回発行
渉外費	11,360,000	7,780,000	3,580,000	68.5	
保険対策費	0	1,950,000	△ 1,950,000	—	保険小冊子作成等
学術研修費	4,160,000	3,970,000	190,000	95.4	
情報関係費	0	900,000	△ 900,000	—	ホームページ維持管理費等
会合費	2,930,000	100,000	2,830,000	3.4	各種委員会会合費削減
交際費	7,780,000	7,280,000	500,000	93.6	
慶弔費	2,210,000	2,210,000	0	100.0	
雑費	670,000	820,000	△ 150,000	122.4	
会議費	3,490,000	2,800,000	690,000	80.2	
役員会費	290,000	100,000	190,000	34.5	会議費
評議員会費	2,000,000	1,700,000	300,000	85.0	
総会費	1,000,000	800,000	200,000	80.0	
支部長会費	100,000	100,000	0	100.0	
雑費	100,000	100,000	0	100.0	
特別会計繰入金	4,840,000	4,840,000	0	100.0	
同窓会基金	740,000	740,000	0	100.0	
血脇記念基金	100,000	100,000	0	100.0	
名簿積立金	3,000,000	3,000,000	0	100.0	
退職積立金	1,000,000	1,000,000	0	100.0	
予備費	4,320,000	4,000,000	320,000	92.6	
合計	144,010,000	130,520,000	13,490,000	90.6	

第11号議案　平成16年度共済負担金について（案）

平成16年度　共済負担金現行通り　4,000円

第12号議案

平成16年度　東京歯科大学同窓会

同窓会基金収支予算（案）

（自　平成16年1月1日
至　平成16年12月31日）

収入の部				支出の部			
科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	摘要	科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	摘要
繰入金	円 740,000	円 740,000	経常部より		円	円	
雑収入	20,000	10,000	利息，他	次年度繰越金	23,040,000	23,790,000	
前年度繰越金	22,280,000	23,040,000					
合計	23,040,000	23,790,000		合計	23,040,000	23,790,000	

平成16年度　東京歯科大学同窓会

血脇記念基金収支予算（案）

（自　平成16年1月1日
至　平成16年12月31日）

収入の部				支出の部			
科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	摘要	科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	摘要
繰入金	円 100,000	円 100,000	経常部より		円	円	
雑収入	10,000	10,000	利息，他	次年度繰越金	3,210,000	3,310,000	
前年度繰越金	3,100,000	3,200,000					
合計	3,210,000	3,310,000		合計	3,210,000	3,310,000	

平成16年度　東京歯科大学同窓会

共済基金収支予算（案）

（自　平成16年1月1日
至　平成16年12月31日）

（収入の部）

科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	摘要
	円	円	
共済負担金	29,330,000	28,500,000	過年度分（平成14年度以前分）800人 2,500,000円 過年度分（平成15年度分）1,500人 6,000,000円 当年度分（平成16年度分）5,000人 20,000,000円 合計 7,300人 28,500,000円
雑収入	200,000	50,000	利息，他
前年度繰越金	125,190,000	127,240,000	
合計	154,720,000	155,790,000	

（支出の部）

科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	摘要
	円	円	
共済金	28,600,000	27,500,000	弔慰共済金 26,000,000円（200,000円×130件） 罹災共済金 1,500,000円（火災，風水害，地震）
事務費	180,000	150,000	切手等
予備費	6,300,000	6,000,000	
給付準備金	119,640,000	122,140,000	
合計	154,720,000	155,790,000	

平成16年度　東京歯科大学同窓会

名簿積立金収支予算（案）

（自　平成16年１月１日
　至　平成16年12月31日）

収入の部				支出の部			
科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	摘要	科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	摘要
繰入金	円 3,000,000	円 3,000,000	経常部より		円	円	
雑収入	10,000	10,000	利息，他	次年度繰越金	18,250,000	21,260,000	
前年度繰越金	15,240,000	18,250,000					
合計	18,250,000	21,260,000		合計	18,250,000	21,260,000	

平成16年度　東京歯科大学同窓会

退職積立金収支予算（案）

（自　平成16年１月１日
　至　平成16年12月31日）

収入の部				支出の部			
科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	摘要	科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	摘要
繰入金	円 1,000,000	円 1,000,000	経常部より		円	円	
雑収入	10,000	10,000	利息，他	次年度繰越金	20,180,000	21,180,000	
前年度繰越金	19,170,000	20,170,000					
合計	20,180,000	21,180,000		合計	20,180,000	21,180,000	

第13号議案

平成16年度　東京歯科大学同窓会

卒後研修セミナー収支予算（案）

（自　平成16年１月１日
至　平成16年12月31日）

（収入の部）

科　　目	平成15年度 予　　算	平成16年度 予 算 案	摘　　要
受　講　料	円 13,650,000	円 13,200,000	1．臨床実技セミナー　11,000,000 No.1 MTM　：　80,000×40人＝3,200,000 No.2 インプラント：　150,000×20人＝3,000,000 No.3 FOP　：　70,000×40人＝2,800,000 No.4 総義歯　：　50,000×40人＝2,000,000 2．卒研フォーラム　1,000,000 No.5 卒研フォーラム　10,000×100人＝1,000,000 3．ベーシックセミナー　1,200,000 No.6 ベーシックⅠ　15,000×40人＝　600,000 No.7 ベーシックⅡ　15,000×40人＝　600,000
雑　収　入	20,000	20,000	利息，その他
前年度繰越金	5,000,000	6,000,000	
合　　計	18,670,000	19,220,000	

（支出の部）

科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	摘要
事業費	円 16,970,000	円 18,020,000	
講師謝礼費	3,220,000	3,920,000	1．講師 3,000,000 2．実習講師 920,000
講師旅費	0	1,200,000	講師旅費交通費，宿泊費
資料作成費	1,000,000	1,100,000	1．実習用資料 600,000 2．講演用資料 500,000
実習器材費	3,800,000	4,000,000	1．実習用器材 3,200,000 2．講演用器材 800,000
役務費	1,500,000	1,800,000	1．セミナー役務 800,000 2．運営役務 600,000 3．チューター 200,000 4．症例発表 200,000
設営費	2,400,000	2,400,000	1．スライド関連費 250,000 2．運営資材費 900,000 3．演者・受講者昼食 900,000 4．消耗品費 350,000
印刷広報費	900,000	900,000	研修用プログラム印刷，他
受講証関係費	150,000	100,000	
広告費	2,500,000	2,000,000	1．雑誌広告 1,200,000 2．DM料 800,000
渉外費	1,500,000	600,000	講師打合せ会費，他
事務費	1,300,000	900,000	
通信運搬費	1,100,000	700,000	プログラム発送・セミナー案内ハガキ，他
消耗品費	100,000	100,000	
雑費	100,000	100,000	
小計	18,270,000	18,920,000	
予備費	400,000	300,000	
合計	18,670,000	19,220,000	

第14号議案

平成16年度　東京歯科大学同窓会

卒後研修セミナー30周年記念事業収支予算(案)

(自　平成16年1月1日
至　平成16年12月31日)

収入の部			支出の部		
科目	平成16年度予算案	摘要	科目	平成16年度予算案	摘要
	円		事業費	円 400,000	
			旅費交通費	200,000	運営委員会講師旅費
			役務費	100,000	
			会議費	100,000	
繰入金	600,000	卒後研修セミナー積立金より繰入	事務費	100,000	
			雑費	100,000	
			小計	500,000	
			予備費	100,000	
合計	600,000		合計	600,000	

第15号議案

平成16年度　東京歯科大学同窓会

総合政策費積立金会計収支予算（案）

(自　平成16年1月1日
至　平成16年12月31日)

収入の部				支出の部			
科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	摘要	科目	平成15年度予算	平成16年度予算案	摘要
繰入金	円 5,000,000	円 4,500,000	経常部より		円	円	
雑収入	10,000	10,000	利息，他	次年度繰越金	5,010,000	9,520,000	
前年度繰越金	—	5,010,000					
合計	5,010,000	9,520,000		合計	5,010,000	9,520,000	

第16号議案

役　員　改　選

東京歯科大学同窓会　正会員の皆様へ

集団扱
自動車保険
が新たにスタートします！

集団扱自動車保険はメリットがいっぱい!!

★保険料が割安です！！

一括払なら、一般契約年払いに比べて**約５％**お安く、
分割払でも、一般契約分割払（口座振替）に比べて**約５％**お安くなります。

★他の保険会社やＪＡ共済等からの切替も等級（無事故割引）の引継ができます。

★お申し込みの際に現金は不要！保険料のお支払いは便利な口座振替です。

★万全な事故処理サービス「ワンコールフルガードサービス」で安心。

★先生本人はもちろん、従業員の皆様※にもご利用いただけます！ ※先生が個人事業主の場合に限ります。

（社）日本歯科医師会
団体所得補償保険
の内容が新しくなりました！

団体割引
３０％適用

★病気で保険金を受け取っても長期継続加入が可能になりました！

※通算で１０００日分保険金をお支払いするまで。

がん、心筋梗塞等の大きな病気をされて保険金をお受け取りになっても、通算して１０００日分の保険金が支払われるまでは、原因となった病気等を不担保（補償対象外）とせず継続できるようになりましたので、安心して長期に継続加入いただけます。
※１就業不能に対する補償期間は従来通り１年、または２年です。　【通算支払限度期間に関する特約の新設】

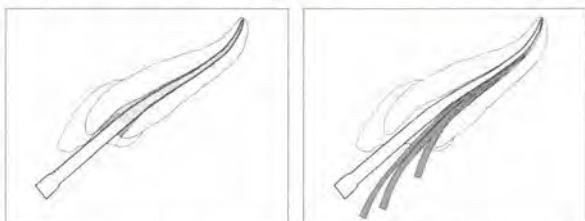
ご家族の生活のためにも、是非この機会にご加入をご検討下さい！
随時受け付けいたしております！

新しい素材が根管充塡のスタイルを広げます。

同じだけど違う!

Same but Different

■ 保険診療対応。
加圧根管充填が算定頂けます。

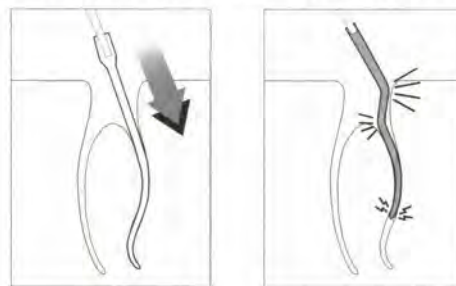
■ マスターポイントとしてお使い頂けます。

ラテラルコンデンスの場合、アクセサリーポイントはガッタパーチャ製をお使い頂きます。
余剰部分は加熱したインスツルメントでカットできます。この際、ガッタパーチャを切除するときより高めに加熱します。

※溶剤で軟化させることはできません。シーラー併用です。
※製品添付の取扱説明書をよくお読みのうえご使用下さい。

■ ポイントの除去が可能です。
根管内にエンジンリーマーを挿入すると、ポイントに沿ってリーマーが簡単に入ります。ある程度エンジンリーマーが入ったらハンドリーマーやファイルを用いて除去して下さい。

■ 簡単に切削できます。
スチールバーでもピーソリーマーでも、簡単に切削できます。

■ ISO規格(ISO6877)に準拠しています。
エックス線造影性 6.6mm
サイズ ISO 20 25 30 40 50 60 70

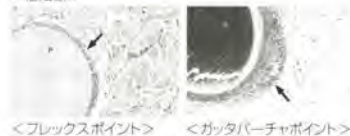
■ フレキシブル!
コシが強く柔軟性が高いため、細い根管への挿入が容易です。

■ オートクレーブ滅菌に対応しています。
円筒容器ごとオートクレーブ滅菌できます。

■ 根管長測定のX線撮影にお使い頂けます。
造影性・耐久性が高く、リーマー等に替わり安全にご使用頂けます。

■ 均質です。
機械化された射出成形により、均質でサイズ精度の高い品質を確保しています。

■ 生体親和性の高い材質です。
フレックスポイントの皮下埋入試験

兎背部の表皮下に#30のフレックスポイントとガッタパーチャポイントを4週間埋入

<組織像>

<フレックスポイント>

<ガッタパーチャポイント>

フレックスポイント「ネオ」の組織反応はガッタパーチャポイントより軽微であり、歯科材料としての組織為害性には問題ないと判断できます。

ポリプロピレン
医療材料、食品包装、衣類、家電製品などに広く使われている樹脂で、剛性、耐熱性、耐湿性、耐薬品性、耐曲げ疲れ性などに優れた特性を持ちます。また、内分泌かく乱物質(環境ホルモン)を含まないプラスチックとしても知られています。

FLEXPOINT® NEO

歯科用根管充填ポイント

フレックスポイント®「ネオ」

医療用具承認番号 21300BZZ00184000
日本特許 第3174944号/米国特許 6024569

組成 ポリプロピレン 硫酸バリウム
包装価格 単品 50本入 3,000円
セット 50本入 3,000円
#30〜70各10本 入り
(#20#25は入っていません。
単品包装をご利用下さい)

ネオ製薬工業株式会社
〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号
Tel.(03)3400-3768(代) Fax.(03)3499-0613

ネオ製薬ホームページ
最新の製品情報を掲載
http://www.neo-dental.com/

NF0203

時の流れをこえたクオリティの高さ

上質なゴールドカラーで、審美性も抜群

- ●成　　分：金86.5%　白金11.3%　その他
- ●溶融温度：液相点―1125℃　固相点―1050℃
- ●色　　調：黄金色
- ●熱膨張係数：$14.4\times10^{-6}K^{-1}$ (50~500℃平均)
- ●質　　量：10g

●物理的・機械的特性

硬さ(HV)		耐力(MPa)		伸び(%)		密度
鋳　造	グレーズ	鋳　造	グレーズ	鋳　造	グレーズ	(g/cm³)
180	220	490	570	6	7	18.8

製品名	成　分				液相点	硬さ	耐力	伸び
	金	銀	白金	パラジウム	(℃)	(HV)	(MPa)	(%)
KIK	85.5	0.5	4.0	8.0	1200	170	400	4
KIKハードⅡ	72.0	2.8	13.0	9.7	1290	210	420	5
KIKルミナス	75.0	2.9	10.0	10.0	1295	210	410	5
KIKゴールド	86.7	—	10.7	—	1100	140	260	10
KIKジースリー	84.5	0.4	10.8	1.0	1180	210	400	6
KIKノーブル	45.0	—	—	46.0	1280	220	450	18
KIKエイブル	40.0	19.5	—	35.0	1270	275	480	6
KIKウィング	—	—	—	81.0	1290	250	450	23

■詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。
ホームページ：http://www.ishifuku.co.jp

ロンドン金市場公認溶解検定業者／(社)日本金地金流通協会正会員／㊜金銀パラジウム合金 JIS表示許可工場

㊫石福金属興業株式会社　歯科材販売

本　　　社：〒101-8654　東京都千代田区内神田3丁目20番7号
TEL.03-3252-8471(直通)　FAX.03-3252-8475

大阪営業所：〒550-0005　大阪市西区西本町1丁目13番36号
TEL.06-6532-1351(代)

名古屋営業所：〒450-0002　名古屋市中村区名駅5丁目22番10号
TEL.052-563-1201(代)

九州営業所：〒802-0002　北九州市小倉北区京町3丁目13番13号
TEL.093-531-9331(代)

MULTISYRINGE&TIPS

マルチシリンジ & マルチシリンジ用チップ

PMTCや3DSのサポートに!

マルチシリンジ、マルチシリンジ用チップは、研磨ペーストやフッ素配合う蝕予防ペーストの歯間部への注入や、3DS(Dental Drug Delivery System)用リテーナーへの薬剤注入に最適な各種ペースト・薬剤注入用シリンジシステムです。

注入しやすい

マルチシリンジ用チップは、任意の角度に曲げることができるので、狭い歯間空隙や臼歯部隣接面、3DS用リテーナーに研磨ペーストやフッ素配合う蝕予防ペーストが注入しやすくなっています。

マルチシリンジ

研磨ペースト注入用シリンジ

【包装】 10本

【価格】 ¥2,500

マルチシリンジ用チップ

【包装】 10本

【価格】 ¥2,500

価格は2003年12月現在の
標準医院価格(消費税抜き)です。

●本社:〒605-0983京都市東山区福稲上高松町11・TEL(075)561-1112㈹

http://www.shofu.co.jp

●支社:東京(03)3832-4366 ●営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)299-2332/名古屋(052)709-7688/大阪(06)6252-8141/福岡(092)472-7595

喫煙が歯肉に及ぼす影響を「絵本」にした初めての本!!

喫煙と歯肉

神奈川県逗子市開業

松岡　晃　著

歯科医院の待合室にぜひ置いてください！

◆ A4変型／32p／オールカラー

◆ 定価2,100円（本体2,000円 税5%）

ISBN4-263-46380-3

●喫煙は喫煙者ばかりでなく，周囲の人たちの健康までむしばんでいます．

●歯科においても喫煙によって引き起こされる悪影響を観察することができます．とくに喫煙者の歯肉に特徴的なことはメラニン沈着による歯肉の黒変です．

●この絵本では，喫煙者やその家族の歯肉の特徴や経年的変化をカラー写真で示してみました．ぜひ待合室に置いて，健康増進の一助としてください．また患者さんの指導にお役立てください．

目次　CONTENTS

①喫煙が歯肉に及ぼす影響

②喫煙が全身に及ぼす影響

③喫煙開始年齢が低いほど強い影響が現れる

④喫煙開始前と喫煙開始後の歯肉の変化

⑤禁煙すると

⑥親が喫煙していると，子どもの禁煙を制止できない

⑦受動喫煙

⑧喫煙と歯周疾患

⑨決めつけないで

医歯薬出版株式会社

〒113-8612　東京都文京区本駒込1-7-10　TEL.03-5395-7630　FAX.03-5395-7633　http:// www.ishiyaku.co.jp/